

学芸は私たちの『思い出の箱』 さあ、BOXを開けて見ましょう

BOX学芸

2025
第31号

令和7年7月
発行

新支部長

香美支部の 新支部長あいさつ

香美支部 新支部長 北岡 修(23期)



昨年の支部総会において香美支部長に選出されました北岡です。

今回、松尾禎之支部長と竹本光男副支部長が揃ってご勇退されることとなり、その後任として大役をお受けした次第です。

松尾先輩には、饒舌かつ明るいキャラクターで長きにわたり支部長として引っ張っていただきました。特に宴会では常に中心にいた存在です。

竹本先輩には、この会の創設時からニュースレターの発行や総会の段取り等の事務方を取り仕切っていただくなど、すべての面において緻密に計画的に進めていただきました。香美支部がここまでの盛会になったのは竹本先輩がいてくださったからと言っても過言ではありません。

さて、その大きな存在の先輩の後任指名を受けたわけですが、お二人のような突出したキャラでもない私で務まるのか不安でいっぱいです。長年この会では会計として参加してきましたが、このあいさつ文を書くのにも四苦八苦する私ですので、どうか皆様ご容赦ください。今後は幹事さんと連携して皆様のご協力をいただきながら進めていきたいと思っています。どうかよろしく願いいたします。

今年の第60回総会懇親会 8月2日開催 運営は31期

「忘れられないあの日 37年経ちました 3.24」

31期幹事 笹岡 悟 片岡 淳 伊藤 真

今年は31期が担当させていただきます。

31期は修学旅行での事故を経験した学年です。

同級生としてのあの時の想い、あの日から今日までの想い、先輩方や後輩のみなさまにも、少しお伝えする時間を作りたいと思います。

もちろん、みなさまとの懐かしい再会や新しい出会いの喜びを分かち合える同窓会にもしたいと思っていますので、当日のご参加を心よりお待ちしております。

◆日 時 令和7年8月2日(土)

総会 午後4時～
(受付は午後3時30分～)

懇親会 午後4時30分～

◆場 所 ザ クラウンパレス新阪急高知
〒780-8561 高知市本町4-2-50
TEL 088-873-1111

◆会 費 お一人様 8,000 円
(学生 3,000円)

当日、受付でお支払いください。

○お問い合わせ先 高知学芸高等学校同窓会事務局まで
E-mail gakugei@kochi-gakugei.ed.jp TEL(088)844-1831

「BOX学芸」は登録された卒業生名簿に基づき発送しています。住所、氏名等の間違いや変更があれば同窓会事務局に連絡下さい。

『35年ぶりの再会の30期生で』

期幹事 三宅 功 泰(30期)

第59回高知学芸高等学校同窓会総会後の懇親会は、30期卒業生が担当幹事となり、2024年8月3日に開催されました。懇親会のテーマは「あらためまして…はじめまして～今、私たちにできること～」30期生の幹事は私と市川普久さんの2名…急遽3名増員し、幹事5人体制で前回担当の29期の先輩方に指示を仰ぎながら、今回の企画に臨みました。

特別授業は、高知県の新型コロナ状況報告等で活躍された、高知県庁健康政策部医監 川内敦文(30期)さんが「COVID-19との4年半」というタイトルで、県下コロナ発生以後の4年半の経過についての貴重な講義を頂きました。

その後もお楽しみ大抽選会を実施、OBOGの各事業所にご提供頂いた賞品を、パソコンによる当選発表で会場は大いに盛り上がりました。

慣例の「学芸讃歌」は参加者全員で輪になって大合唱で終了…最後に29期生からオリジナルの「花メダル」を30期運営者に掛けて頂くという、感動のサプライズもありました。

改めて、人とのつながりの大切さを感じる一日となり、多くの参加者にとって心に残る再会の場となりました。もともと平成元年の卒業以来、一度も期同窓会を開催していない学年でした。告知当初の30期グループLINEは55名、県内外の同級生のご協力によりSNSやアナログを駆使した呼びかけによって実現しました。今現在では106名になっています。35年の歳月を経て再び顔を合わせた仲間たちは、当時の面影を残しつつも、それぞれに時を重ねた姿で集い、会場は懐かしさと喜びに包まれました。「あの頃は…」と語り始めると、誰もが自然と笑顔になり、学生時代の思い出話に花が咲き、当時の教室が目に浮かぶようなひとときとなりました。再会を機に連絡を取り合うきっかけとなった参加者も多く、次回の30期生同窓会開催を期待する声が多数寄せられました。

今年1月には、小規模でしたが海外の同級生とオンラインで繋ぎ、30期生同窓会を開催しました。



令和6年度収支決算報告書(案)

(R6.6.1~R7.5.31)

高知学芸高等学校同窓会

(1) 収 入

科 目	金 額
入 会 金	1,644,000
総 会 会 費	957,000
幹 事 会 会 費	201,000
会 報 作 成 協 力 金	1,920,000
会 報 広 告 料	355,000
会 報 学 校 補 助	248,000
会 員 名 簿 頒 布 代 金	9,300
預 金 利 息	2,859
雑 収 入	50,704
前 年 度 繰 越 金	9,615,086
合 計	15,002,949

(2) 支 出

科 目	金 額
総 会 費	1,363,861
支 部 総 会 費	1,183,450
広 告 料	138,930
会 報 費	2,961,507
会 議 費	595,900
通 信 費	145,224
慶 弔 費	19,602
雑 費	23,245
次 年 度 繰 越 金	8,571,230
合 計	15,002,949


会員からの返信<30号>

＝楠瀬 東洋 1期B組 千葉県野田市

会報ありがとうございます。BOX学芸が届くと、この一年を振り返ります。

＝國見 昌宏 1期C組 埼玉県草加市

元気です。

＝恒石(山中) 美智子 1期D組 香南市

83才になり運転免許証を返納しました。買物は市バスでスーパーへ連れて行ってくれるので便利です。ただ、気軽に友達と会うことができなくなったのでとても不便です。

＝伊富貴(安藤) 美智子 2期B組 滋賀県彦根市

会報送付ありがとうございました。いつも楽しみにしております。

＝松尾 千景 2期E組 千葉県浦安市

思い出すS35。昼休みの真鍋先生のアコで皆の歌声、学芸祭に踊った闘牛士のマンボ。運動会の後、焚き火を囲んでフォークダンス。青春をありがとう。今も続くクラスメイト。ありがとう。

＝辰川(川崎) 眉美 4期D組 広島県三次市

今年もBOX学芸を送っていただいて有難うございます。毎年楽しみに待っています。

＝北村 秀夫 4期E組 香南市

今年も「BOX学芸」ありがとうございます。毎号楽しみにしています。

＝石川(岡林) 弘子 5期B組 高知市

ありがとうございます。毎年、楽しみにしています。

＝西川 博行 6期E組 高知市

「会報発行協力金」へのご支援に対しまして、心から感謝申し上げます。

＝原田 孝彦 7期F組 愛知県名古屋

スーパーバンドのキャンペーンソング「最高知」まっこと最高チャ!

＝武津(楠瀬) 冷子 7期F組 岐阜県多治見市

卒業生・在校生の様々なご活躍嬉しく拝見・応援しています。

＝和田 守正 8期A組 南国市

皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

＝枝重 泰三 8期E組 香南市

御苦勞様です。あと、何年送れるのか? <お元気で? >

＝堀口 道夫 9期C組 大阪府吹田市

第30号のBOX学芸では2名の同級生名前目にしました。いずれも訃報。黙祷。

＝篠田 邦裕 9期D組 千葉県佐倉市

「BOX学芸」毎年懐しく拝読。「内に烈々たる熱情を秘めて、諸君頑張りゆうねえ。終わります。」

(毎週月曜校庭での朝令にて) 第3代校長佐野正太郎先生(当時は学年主任?)の激励が懐かしく思い出されま

す。同窓生の皆さん、元気ですか。

＝田村 麻美子 11期D組 吾川郡いの町

年を重ね少し淋しくなった頃、同窓生の活躍に元気をもらいます。

＝齋藤 真里子 13期G組 大分県大分市

BOX学芸いつも楽しみにしています。29号、30号で英語の恩師、谷浩(谷脇浩二)先生、谷信(谷脇信幸)先生、徳平(徳平實)先生の訃報のお知らせ。英語の教師として教壇に立っていた先生方に感謝の気持ちで一杯です。10月高知大学のOB会で帰高時、友人の働きかけで同級生数人とおしゃべりに花が咲き、まろき輪がまた広がり、コーラス部の活躍もうれしい限りです。今もコーラス続けていますが当時を思い出します。

＝徳広(山本) 佳子 15期F組 神奈川県川崎市

会報ありがとうございます。この10/19に高校卒業50年の記念の同窓会があります。10年ぶりの出席、楽しみにしています。

＝西森(田村) 博子 17期D組 吾川郡仁淀川町

今年参加しました佐川支部総会。毎年、あつという間の2時間です。

＝岡本 巧己 21期B組 高知市

鬼谷選手パリパラリンピック銀メダルおめでとう!学芸の誇りです。学芸頑張れ!

＝西井(山本) 誠子 27期E組 高知市

BOX学芸30周年、おめでとうございます。

始めることにも、またそれ以上に継続することにも、並大抵でないお骨折りがあることと存じます。頭が下がります。毎号拝見するのを楽しみにしております。

学芸中学校高校時代に学んで身に着けたことで、社会人になっても役に立ち、身を助けてくれていることに、漢字の読み書きと、話を聞きながら記録を取るスキルがあります。漢字のドリル・小テストが習慣のようにあったことと、生物担当の矢野清八郎先生が授業内の、教育テレビの番組を観ながらノートを取り、清書して提出をする課題(通称ダブルノート)で培われたものでした。

当時、「卒業生に聞いたら、後々これが役に立ったといっているから続ける。」とおっしゃる、矢野先生と卒業生の先輩方を、未熟だった私は「鬼か!？」と、思っておりましたが、大学時代のノート取りから始めて、社会人になっても大事な会議の記録係として、職場でも「特殊能力だ」と褒められ、重宝していただくことも多く、今となってはありがたく、心より感謝申し上げている次第です。

矢野清八郎先生をはじめ、鬼籍に入られた先生方の御冥福をお祈り申し上げます。

＝平井(竹崎) 友梨 53期F組 東京都世田谷区

いつも、お世話になり、ありがとうございます。

会報全員配布

735人から発行協力金 ありがとうございます

「BOX学芸第30号」は例年通り、会員名簿を頼りに同窓生に郵送・配布しました。その際、これまで同様、発行協力金のお願いをしましたところ、735人から貴重な援助をいただきました。どうもありがとうございました。

そして、振込用紙には母校と同窓会への思いのあふれたメッセージが添えられていました。その一部を採録して、お礼に代えさせていただきます。

住所不明、返送にご注意を

※最近、会員の住所不明者が続出しています。住所変更や転送の有効期限は1年間ですから、同窓会、郵便局に住所変更を届け出るか、1年後に郵便局に転送の延長願い（「手続き延長届け」）を出してください。元の住所に保護者が住んでいても「住所不明」になり会報が届きません。

なお、ご協力のお願い

皆様のご協力で毎年、会報が継続、発行されています。その一方で、発行にはかなりの費用もかかっています。引き続き、お構いのない範囲でのご支援、ご協力をお願いする次第です。

「31号」でも、発行協力金のお願いのための振込用紙を同封させていただきました。一口1,000円、何口でも結構です。ぜひ、よろしくお祈りします。

会長 西川 博行（6期）

訃報

皆様のご逝去を悼み、謹んでお悔み申しあげますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成21年	瀧石 道生(19期D組)	令和6年 9月 4日	川越 祐司(22期A組・22期幹事)
令和5年 1月24日	津田 展宏(4期D組)	令和6年 9月22日	遠嶋 晃(12期E組)
令和5年12月16日	中島 冴子(3期C組)	令和6年10月	近藤 和人(12期E組)
令和6年	今西 貴之(20期F組)	令和6年10月 5日	池添 洋輔(4期C組)
令和6年	横山 武司(4期D組)	令和6年10月 8日	大川 陽子(9期B組)
令和6年 2月28日	友村 悦丈(1期B組)	令和6年11月15日	北川 和男(26期A組)
令和6年 3月	伊藤 瑞穂(1期C組)	令和6年12月	和田 愛子(5期D組)
令和6年 3月18日	氏原 敬一(18期D組)	令和6年12月17日	田村 好弘(19期C組)
令和6年 3月23日	今津 好秀(9期C組)	令和6年12月19日	石丸 輝彦(2期E組)
令和6年 3月27日	小野寺 稔(11期E組)	令和7年 1月26日	平川(松本)汀子(7期B組)
令和6年 4月	東(奥田)多代(2期B組)	令和7年 1月28日	浜田 雄介(19期A組)
令和6年 4月7日	橋本 圭輔(11期F組)	令和7年 2月 2日	西本 勝子(10期E組・元衆議院議員)
令和6年 5月17日	森田 恵介(14期D組)	令和7年 2月 4日	吉本 忠男(4期B組)
令和6年 5月30日	西村 則夫(9期A組)	令和7年 2月 7日	濱田 幹正(7期B組)
令和6年 6月 8日	山本(高橋)若子(9期C組)	令和7年 2月17日	久保 茂(8期C組)
令和6年 7月 6日	松村 幸子(15期C組)	令和7年 2月21日	吉永 宏二(16期F組)
令和6年 7月 7日	北代 和久(11期D組)	令和7年 2月21日	岡本(岸田)正明(2期B組)
令和6年 7月 8日	山中 慶三(17期A組)	令和7年 3月	森本 英材(7期D組)
令和6年 7月10日	大寺 久美夫(14期B組)	令和7年 3月 5日	谷内(島崎)英子(1期C組・元安芸支部副支部長)
令和6年 8月	門脇(高橋)ルツ子(1期E組)	令和7年 3月13日	前田 雅幸(15期B組)
令和6年 8月 2日	横川(尾崎)久眉子(6期B組)	令和7年 4月 4日	三福 伸児(8期A組)
令和6年 8月14日	美濃部(竹島)瞳(4期E組)	令和7年 5月 2日	梅原 敏弘(1期D組・土佐支部初代支部長)
令和6年 9月 2日	中 宏文(27期F組・元安芸支部会計監査・27期幹事)		

この1年間に連絡があった方です（敬称略）。漏れがあれば同窓会事務局へご連絡ください。

防衛大学校紹介

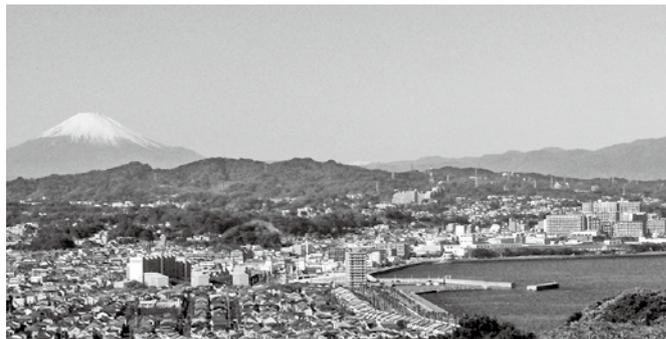
防衛大学校航空宇宙工学科

教授 田中 宏明 (33期)

33期生の田中宏明と申します。私は2004年から防衛大学校で勤務しております。この度、「大学から」の執筆のお話をいただきましたので、本学をご紹介させていただければと思います。

本学は、防衛省の1機関であり、将来の幹部自衛官となるべき人材の教育訓練と、それらに必要な研究を行っております。そのため“大学”ではなく“大学校”となります。神奈川県横須賀市の小原台という高台にあり、天気の良いと建屋の屋上から富士山が見えます。全寮制(衣食住は支給)の学校で、1学年約500名、合計で約2000名の学生が共同生活を送っております。学生は特別職の国家公務員であり、学生手当が支給されます。

人社系3分野、理工系11分野の学科があり、幅広い分野をカバーしている他、学生は副専攻的に防衛学を学んでいきます。私の所属する航空宇宙工学科はその名の通り、飛行機やロケット、人工衛星などについて学んでいく



学科であり、防衛大学校の中では最も学生数の多い学科です。航空自衛隊だけでなく、陸・海においても航空機やヘリコプタを多数用いていることもあり、多くの卒業生が何らかの形で航空機に係る仕事にすすみ、パイロットになる卒業生も比較的多くいます。また最近では、宇宙領域の重要性も増しており、宇宙に係る仕事をしている卒業生も出てきました。

このように本学は非常に個性的な学校であり、合う合わないは有ると思いますが、少しでも興味を持っていたければ幸いです。

博士になろう!!

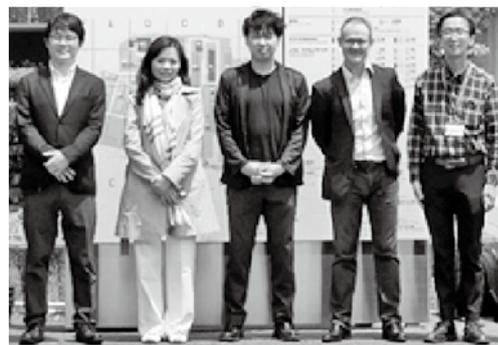
名古屋工業大学物理工学類

助教 岸本 拓磨 (53期)

高知学芸高等学校を卒業後、早稲田大学基幹理工学研究科機械科学・航空宇宙専攻鈴木研究室にて博士(工学)を取得し、その後、東京大学生産技術研究所にて3年間研究員を務め、昨年より名古屋工業大学物理工学類の助教に就きました。名工大は、高知県では知名度の低い国立大学ですが、同じ類内に22期生攻教授が在籍しており、実は高知学芸とご縁があります。専門は金属材料の加工と組織ですが、詳しくは「名工大 岸本」とご検索ください。

皆さんは、大学の博士課程の存在をご存じですか。大学に入学後、4年制の学部、2年制の修士課程を卒業すると、3年制の博士課程に進学できます。博士課程では、主に自身の研究を進めますが、研究を通して問題解決力、プレゼンテーション能力等、様々な能力を極めていきます。これらの能力は研究者に限らず社会で必要とされており、「私は別に研究職に就きたくない…」と思う学生も博士課程

への進学を検討すべきです。残念ながら近年、日本人の博士課程進学者は減少傾向にあります。国際的な産業規格、例え



上司らと(筆者は中央:2024年5月)

ば工業製品の性能評価に関する国際ルールは、博士号を持つ識者が中心となって作られることがあります。日本人は、他国が作ったルールを努力して守るのが得意であり、国際ルール作りは他国に委ねる傾向があります。これからは国際ルール作りを主導する日本人博士人材を増強し、かつて日本が先導した様々な産業の衰退を阻止する必要があります。是非、我が国の為にも博士課程への進学をご検討ください。大学や博士課程についてご相談があれば kishimoto.takuma@nitech.ac.jpまでご連絡ください。

株式会社 特殊製鋼所

TOKUSHUSEIKOSHO CO.,LTD.

代表取締役 井戸 啓彰 (31期平成2年卒)

本社・工場 〒781-0814 高知市稲荷町120番地 TEL(088)883-1291 FAX(088)883-1424



春の早稲田にて立志する

越智 洸太郎 (66期)

皆さんこんにちは。66期生の越智洸太郎と申します。私はこの春に早稲田大学法学部に進学しました。ここでは私の大学生活を少し紹介させていただきたいと思います。

はじめに授業について紹介します。大学の授業は1コマ100分間で実施されており、その形式も、座学形式から教授との問答形式まで幅広く、授業自体が人間的力量育成の機会となっています。All Englishの授業や、抽象的な理念に関する様々な学説に触れる法学の授業などは非常に興味深く、日々学問の喜びを噛みしめています。大学の学習では、唯一の正解が存在しない問いへの自らの考えを持つという営みが重視されます。自らの意見の根拠たる知識を身に付けるために、能動的に学ぶことが必要であるのだと実感する日々です。

つぎに授業外の生活について紹介します。様々な地域

や国から学生が集まる早稲田は多様性溢れる環境であり、私も、弁論サークルの友人と長時間にわたり社会問題について議論をしたり、フランス語のクラスメートとご飯を食べながら互いの将来の夢を話し合うなど、充実した時間を過ごしています。



結びになりますが、大学生活は無限のものではありません。学問に没頭できる環境や他者との縁に感謝をしながら、有限である大学生活の1日1日を大切に、学芸の卒業生としての誇りと飽くなき知的好奇心を胸に抱いて、大学生活の全てに対して不断の精進を重ねていきます。将来高知県に戻る日には、今までお世話になった方々に立派に成長した越智の姿をお見せすることを誓い、私からの寄稿とさせていただきます。

芸術大学での日々

渋谷 晶世 (63期)

こんにちは。63期生の渋谷晶世と申します。私は学芸を卒業してから京都市立芸術大学音楽学部に進学し、4月から大学生活最後の1年を送っております。

大学では弦楽専攻に所属しており、私はヴァイオリンを専攻しています。専攻のレッスンでは、私の場合は主に基礎を徹底すべく、音階や練習曲をほぼ毎回のレッスンで見てもらっています。また、協奏曲やソナタなどの曲では自分の表現したい音楽を実現できる的確なアドバイスを先生からいただくことができるので、音楽的にも着実に確実に成長することができます。個人レッスンの他にはオーケストラや弦楽合奏、室内楽などの授業があり、様々な編成の曲を学ぶことができます。

京芸では、演奏を披露する機会が多くあります。年2回の定期演奏会や10月に行われる3名のソリストによるコンチェルトのコンサート、自主公演の演奏会など…演奏機会が多いということはその分短期間で曲を仕上げないといけないということでもあるので、京芸に入ってから譜読み能力やアンサンブル力がかなり鍛えられました。

何より京芸に入って良かったと思うことは様々な人に出会えたことです。音楽界の第一線で活躍されている先生方や自分と同じ音楽を志して京芸にやってきた仲間たち、そして美術学部の方々。出会う人の数だけたくさんの価値



筆者は後列、右端です

観に触れることができたため、自分自身の視野も広がり、人間としても成長できたのではと感じています。

将来はオーケストラに所属し、オーケストラ奏者として活動したいと考えております。また、これまで教えていただいたことや自分の経験を、次の世代に伝えていくこともしていきたいと思っております。そのためにも、日々の努力を怠らず、欠かさず鍛錬を続けていきたいです。

レーシック 老眼手術 (多焦点眼内レンズ) 白内障手術 眼科一般診療



医療法人 中平眼科クリニック 院長 中平 洋政 (22 期生)

〒700-0035 岡山市北区高柳西町 16-13 TEL 086-256-0419 <http://nakahiraeye.net>

佐川 佐川支部総会

井上 遼 (56期)

令和6年7月6日、佐川町の居酒屋御酒屋にて第23回高知学芸高校同窓会佐川支部総会(第32回佐川地区学芸OB会)が開催されました。冒頭、森下表先生(17期)より学芸中学高等学校の現状や最近の実績、卒業生の功績等をお話いただき、その後宇賀茂敏さん(6期)、西川博行会長(6期)から一言ずつ賜り、北川智先生(22期)の乾杯のご発声の元開会いたしました。本部から西川博行会長・宮地明副会長(14期)、学校から森下表先生・北川智先生がご出席いただき総員32名、大盛況な会でした。

私は、学芸高校卒業後県外の大学へ進学、就職後も県外勤務が続き約10年ぶりに高知県へ帰郷いたしました。今回、最年少参加者であったこともあり少し緊張しておりましたが、お酒が進むにつれて世代の垣根を越えて同じ学校の卒業生という一体感のもと楽しい時間を過ごすことができました。この同窓会参加によって卒業生同士の強い絆と歴史を感じ、県外在住時代には体感することができなかった卒業生とのつながりや諸先輩方との交流を深めることができ大変嬉しく



思いました。

佐川町は令和5年にNHKの朝ドラで同町出身の牧野富太郎先生をモデルとした「らんまん」の放送から1年経った現在でも、国内外から多数の観光客の方が訪れております。牧野公園で植物観察をされている方、酒蔵ロードにて鰻の名店大正軒で食を堪能されている観光客の方を拝見します。私も令和6年3月に佐川町に赴任後、地域のお客さまと一緒に幕藩時代からの地酒「司牡丹」を堪能しながら、佐川町の魅力に触れております。

今回、佐川支部総会を通じて各業界部門で活躍されている諸先輩方から多くの刺激をいただきました。私も同じ学芸高校卒業生として同校の名前に恥じぬよう行動し、銀行員として佐川町の発展に微力でも貢献できるよう精進してまいります。

安芸 安芸支部総会開催

幹事(事務局担当) 立仙 善久 (31期)

2024(令和6)年6月1日(土)に安芸市のホテルタマイにおいて第17回高知学芸高校同窓会安芸支部総会を行いました。ブロックからの参加者は14名、同窓会本部より西川博行会長(6期)、浜田祥夫常任幹事(19期)をはじめ学校より島本泰志教頭先生(保体)、長谷川将大先生(社会・同窓会常任幹事兼任)そして室戸支部より松田昌支支部長がおいで下さり、大盛況の開催となりました。

今年は役員改選の年でしたのでお諮りしたところ満場一致で再びの留任となりました!2年間よろしくお願ひ致します。

当日は進行に何かと不備な点もありましたが、ご参加いただいた皆様のおかげで大盛況の会にすること



が出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。

当ブロックは毎年6月の第1土曜日の開催になります。今後ますます盛り上げていきたいので皆様のご参加をお待ちしております。

徳島 徳島支部総会の開催にあたって

支部長 鎌田 義人 (15期)

徳島支部は2011年10月の設立から14年を迎えます。設立当初から「学生など若者を大切にする」という支部方針のもと、新入生の歓迎を兼ねた総会や追い出しコンパ、会員による特別講演、親睦ゴルフ大会、ニューズレター「にひはり」や会員名簿の発行などを行ってまいりました。

しかしながら、その柱となる若者、特に大学生においてコロナ禍の間(2019年12月～2023年5月)に学生幹事の卒業により若者間のネットワークが途絶えたこと、また、個人情報保護法により徳島県への進学者の情報もほとんど得られない状況となり、大学生の参加が見通せなくなるなど大きな課題に直面しています。

こういった状況ではありますが、引き続き、より多くの同窓生に参加していただき会員相互の親睦と啓発を図るとともに、今後の支部のあり方や取り組みについ



て話せる機会にしたいと思っています。そうして、同窓生が支え合える、さらには、母校の発展に貢献できる徳島支部でありたいと考えています。

今後とも魅力的な徳島支部としての運営に努めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

香美 第26回香美支部総会を開催しました

副支部長・事務局 三谷 隆博 (23期)

2024年7月27日、第26回総会を総勢26名で開催いたしました。

同窓会本部から西川博行会長・内田隆夫副会長・浜田祥夫常任幹事、学校から宮本進一教頭先生・森下表先生・北川智先生、そして、嶺北・香南・南国支部からは村山龍一支部長、國沢一之事務局長のご出席をいただきました。

議題でありました役員改選を行い、新支部長に北岡修氏(23期)・副支部長に三谷隆博(23期)が就きました。前任の松尾禎之支部長、竹本光男副支部長には顧問(幹事)をお願いし、会計幹事1名、幹事11名でお世話をさせていただくことになりました。

今回、松尾前支部長の「長年」の希望でありました「高知新聞在職の女性記者を招いて、懇談会をしたい・・・。」という願いが叶い、香長支局におられた松田さん(38期)、福井さん(55期)、村瀬さんをお招きして、香美市での取材時のエピソードなどをお聞かせいただきました。ささやかなお土産にと、地元特産の土佐打刃物を差し上げ、今後も鋭くも味のある記事を期待するしだいです。

写真撮影後は、西川会長、宮本教頭先生からご挨拶をいただきました。続いて、香美市企画財政課長の



総会出席者

黍原美貴子氏(25期)から、NHK連続ドラマ「あんぱん」についての取り組みと地元の盛り上がりを期待するお話がありました。(=企画財政課長でありながら、通称「香美市あんぱん室長」であります。)

会場の都合で、コロナ警戒時分の頃には考えられない混み具合、肩を擦り合わせての酒の酌み交わし、歓談に盛り上がり、声も高くなる頃には校歌を歌いあげ、お開きとしました。名残惜しい組は、2次会へと繰り出し、懐かしくも楽しいひと時を過ごしました。

新執行部ゆえ、至らぬ点がございますが、香美支部を引き続きよろしくご願い申し上げます。

中村 「支部だより」

支部長 岡本 啓一 (17期)

2024年8月23日に第12回中村支部総会が開催された。中村地区から17名、同窓会本部から西川博行会長(6期)、大倉啓二会計監査(19期)、学校からは村上俊浩教頭(21期)、森下表先生(17期)、北川智先生(22期)が、更に本年も安芸市から浜田祥夫氏(19期)が参加してくれた。宴半ばの近況報告では、「体と相談しながら生活している、無理はしない」の声が多く聞かれたが、皆ぐいぐいと杯を空け、元気そのもの、爆走老人降臨でした。そして、「学芸讃歌」の合唱の直前に、55期生4人が突然やって来て、先輩に「よう来たのう」と頭を撫でられ、改めて、川村公彦氏(13期)のタクトで「学芸讃歌」の大合唱で終宴となった。

2025年2月23日には冬の宴会を開催し14名が参加した。「老人会やねえ」の囁きの中開宴、一旦開宴すると爆走老人軍団ここにありの様相でした。宴半ばの近況報告でも、夏とは違い「前向きに元気に暮らしている、人生を楽しんでいる」との声が多く聞かれた。最後は「学芸讃歌」の大合唱で閉宴した。

夏に参入した55期に案内を送ったが参加がなく残念に思った。やはり若いエネルギーが欲しい。私の夢は、「子供と同窓会に参加」です。長女(53期)とは1回だけ達成したが、長男(55期)、次男(57期)とはまだで



2024年8月23日第12回中村支部総会



2025年2月23日冬の宴会

ある。なんとか夢を叶えたい。せめて子供たちの同級生と飲みたい。

西南 5年ぶりの第16回西南支部総会開催

支部長 上岡 太郎 (26期)

西南支部は、宿毛市・土佐清水市・大月町・三原地域出身及び在住の同窓生を中心に活動を行っています。

令和6年12月14日(土)に、同窓生のお店である宿毛市の創作割烹大松において、新型コロナウイルス感染症による開催中止以来、5年ぶりに第16回西南支部総会を行いました。総会においては「事業報告」「会計報告」「事業予定」等、議案は全会一致で承認されました。

総会終了後の懇親会には、西川博行会長(6期)、福田恵美副会長(6期)が、学校からは、橋本和紀校長先生、森下表先生(社会・同窓会副会長兼任)、北川智先生(英語・同窓会校内幹事兼任)が参加して行われました。

同窓会西南支部は、1年に1回の総会及び懇親会が主で、現在は少人数での活動となっていますが、仕事や地域活動、地元の会合などで顔を合わせる機会も多く、結びつきの強い集まりです。また、それぞれのメンバーが各分野各地域において力強く立場を築いていますので、今後、転勤やUIターンなどで幡多地域に来



られることになった方は、是非一声かけていただければ、何か少しばかりお役に立てる場面もあろうかと存じます。

年に1回の会ですが、肩肘を張る必要のない気楽な会です。これまでご参加になられていない方もお気になさらず是非一度ご参加下さい。お問い合わせは(kamioka.taro@inanhp.jp)上岡までお気軽にお願い致します。

香南・嶺北・南国 支部総会の開催

支部長 村山 龍一 (13期)

昨年10月12日(土)に南国市の「レストラングドラック」で第19回香南・嶺北・南国支部総会を開催しました。

学校から橋本和紀校長先生、森下表先生、蒲原宜彦先生に、同窓会本部からは西川博行会長(6期)と廣瀬則光常任幹事(1期)、浜田祥夫常任幹事(19期)に参加いただきました。また、香美支部から三谷隆博副支部長(23期)はじめ3名の参加をいただき、全体で52人の総会になりました。

総会では、役員改選で新たに地区幹事として澤田智則さん(23期)、山崎勝士さん(25期)に加わってもらうことになり、その他の役員は留任となりました。また、古希になった14期生に記念品が渡されましたが、その記念品は、國沢一之事務局長(14期)のおかげで、今回からチョットお洒落な木製のスマホスタンドになりました。

懇親会に入り、西川会長、橋本校長先生の来賓挨拶の後、物部川DMO協議会の濱田明季さん(52期)から、今春放送の連続テレビ小説、やなせたかしご夫妻を主人公とした「あんぱん」の舞台としての活動などを紹介してもらいました。

その後は、同窓会で最も重要な懇親の場。三谷香美



第19回香南・嶺北・南国支部総会記念写真

支部副会長の発声で乾杯し、同期生はもちろん、期を越えて楽しく会話が弾んでいきました。

私もこの同窓会が縁で先輩・後輩に助けられたことがあります。同窓生のつながりが広がればと思います。本支部同窓会総会は毎年10月の第2土曜日に開催され、支部会員はもちろん他支部の方の参加も歓迎しています。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

土佐 第25回土佐支部総会開催

津野 裕亮 (45期)

令和6年11月23日(土)、土佐市内の割烹松尾にて、第25回土佐支部総会・懇親会が開催されました。これまで長い歴史のある土佐支部総会ですが、私自身、土佐市に住んでおりながら、参加をさせていただいたのは今回が初めてでした。学校から橋本和紀校長先生らが参加されており、各々の在校時の思い出や、現在の仕事や家庭等の近況話に花を咲かせておりました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、懇親会の最後は全員で学芸讃歌の大合唱にてお開きとなりました。学生時代以来の学芸讃歌でしたが、自然とすらすらと歌詞が出て、学生時代を思い出し、少し目頭が熱くなるような気持ちとなりました。

今回、初めて支部総会・懇親会に参加させていただきましたが、博学多彩な方々と、様々な会話をを行うこと



で、私自身の見識を深める、とても有意義な時間となりました。土佐市にお住まいや働かれている卒業生の皆様、ぜひ母校の支部総会・懇親会に参加をしてみてください。母校の様々な卒業生の皆様と今後も支部総会・懇親会で出会えることを心より楽しみにしております。

I ♥ KOCHI
KENJIN 50TH ANNIVERSARY

高知を
元気にする。
人材確保のプロフェッショナル集団



代表取締役会長
栗田 寛
(第11期生)



代表取締役社長
山中 崇之
(第39期生)

KENJIN
Kochi, Japan. Intelligent network service Inc.

株式会社ケンジン
〒780-0945
高知市本宮町105-18
ソフト団地内
TEL 088-850-0566
FAX 088-850-0567



(株)ケンジンはおかげさまで設立50周年をむかえました。

関東 学士会館での最後の集いに笑顔咲くーパリパラリンピック銀メダリスト鬼谷慶子さんも参加

常任幹事 藤原 清幸 (36期)

昨年10月、東京都千代田区の学士会館にて、第37回高知学芸高校同窓会関東支部総会が開催されました。学士会館は2025年から改築工事に入るため、この会場での最後の開催となりました。今回から運営期が西暦末尾にちなんだ体制へと変わり、4のつく期(4期・14期・24期・34期・44期・54期・64期)が担当しました。

同窓会本部からは西川博行会長(6期)と福田恵美副会長(6期)、学校からは橋本和紀校長、松本直人事務長、森下表先生(社会・同窓会副会長)が来賓として出席。さらに、パリパラリンピック銀メダリストの鬼谷慶子さん(54期)も参加し、1期生から54期生まで計72名



鬼谷さんと同窓会参加者との集合写真

が集いました。

総会では活動報告と会計監査報告に続き、恒例の特別授業を実施。「アートで心をさがす」と題し、造形作家・臨床美術士の丸本真代さん(24期)が作品を通じて心を読み取る講演を行い、続いて鬼谷さんによるメダル獲得までの努力の軌跡を語る講演が行われ、参加者一同が深い感銘を受けました。最後に全員で「さよならは言わない」を斉唱し、第1部が締めくくられました。

懇親会では、市川浩幸副支部長の乾杯に始まり、卒業50周年記念品贈呈、松田恵子さん(1期)によるフラダンスの披露と続きました。運営期の24期生が主導するクイズ対抗戦やパーソナルカラー診断、よさこい踊りなど多彩な企画で会場は大いに盛り上がりました。最後は全員で輪になり「学芸讃歌」を大合唱し、盛会のうちに幕を閉じました。

次回第38回総会は、2025年10月25日(土)11:30より、千代田区内幸町の日本プレスセンタービル内「アラスカ」にて開催予定です。皆様との再会を楽しみにしております。

中部 今年もみんなで総会・懇親会会場設営・後片付け

事務局長 久禮田 恵資 (45期)

2024(令和6)年11月16日(土)に名古屋駅前にある「ウイングあいち」にて令和6年度第9回高知学芸高校中部支部総会を開催致しました。昨年度よりホテルから貸し会議場へ変更し、2回目となります。

同窓会本部からは西川博行会長(6期)、野本裕之常任幹事(21期)、学校からは宮本進一教頭先生(英語)、北川智先生(英語・同窓会校内幹事兼任22期)、特別ゲストで尾崎光市元教頭先生(理科・化学)を迎え、総勢25名での開催となりました。今年は、15期、41期、53期の方も初参加して頂きました。

総会では、西川会長より同窓生の鬼谷慶子さん(54期)のパラリンピックでの銀メダルの快挙の報告、また宮本教頭先生より学校の近況報告、支部からは活動報告、会計監査報告を行い、満場一致で承認頂きました。

総会後は尾崎光市先生より「化学(化楽)とソフトテニス指導人生」について講演頂きました。周期表の話から始まり、我々が学生時代には教科書に掲載されていなかった日本人が見つけた、Nh(ニホニウム)の話から、用語としてエントロピー、エンタルピー(大学化学)が高校化学の教科書に入って来たということでした。また、活性化エネルギーの話では、ソフトテニスでのチーム強化を例にKIZAOのTeam Chemistryの法則と題しチーム力は能力、メンバー、人数に比例し無関心の度合いに反比例する。また触媒(尾崎)が活性化エネルギーを下げる事でよりチーム力が上がるという事を言われておりました。我々が学生時代に習った化学の授業もそうであったと自分なりに解釈させて頂きました。特別



講義では皆さん、昔のように前に立たされる事もなく、居眠りせず真剣に聞いておりました。

その後は、野本常任幹事(21期)の乾杯により懇親会がスタートしました。今年は、昨年料理に質が…という反省もあり「東京人形町今半」のすき焼き弁当とオードブル、ビール、ダバダ(無手無冠)、香美支部の松尾酒造(12期松尾禎之さん)直送の日本酒、高島屋のスイーツ(21期高濱さん差し入れ)等々を準備させて頂きました。

今年も全員景品ありの抽選会を行い、全員一言スピーチをして頂きました。尾崎先生の娘さんで45期の東さやかさんの手作り作品(名古屋三越などで期間限定セレクトショップ開催)も景品にし、非常に盛り上がった懇親会となりました。

最後は他の支部にはない全員で最後のお片付けということで、会場で飲食した物を綺麗に片付け、机を元に戻して掃除をして終わりました。西川会長含め来賓の方々にも手伝って頂き、大変申し訳なく思いましたが、そこはご勘弁お願いします。

そのあとは近くの居酒屋で2次会を行いました。

中国 第21回高知学芸高校中国支部同窓会の報告

副支部長・会計監査 中平 洋政 (22期)

22期の中平です。私が岡山に如何に流れ着いたかお話します。高校生時代、近視を治したいと思い立ち高知医大に入学しました。卒後、地域医療も担いたいとローテート研修目的で岡山にやって来ました。以来もう30年以上も岡山に住みついています。多くの方に支えられ、ここ岡山でレーシックはじめICL手術など近視治療を展開しております。数年前から中国支部の世話役もさせてもらっています。

さて同窓会当日、色々なアクシデントがありました。森支部長が倒れて緊急入院して支部長代理で下手な挨拶をしたり、会場の「ピュアリティまきび」が岡山イオンに近いこともあり夕方の渋滞に本部からのご一行が巻き込まれ、到着が遅れ誘導しに行ったり、たいへんな会の幕開けでした。でも会が始まると22期の同窓生が中国支部には多くおり、ひさしぶりの顔合わせに心が和んだり、西川会長はじめ先輩たちの発言に感動したり多くのことを学ぶ場になりました。

特別講演では高知城歴史博物館館長の渡部淳氏の演壇をWEBにて拝聴し高知にはこんな素晴らしい財



産があるのだと高知の素晴らしさを再認識しました。

59期の学生さんが前年に続き参加してくれ、彼らの才能には前途の明るさを感じました。日本も捨てたものでもないと思いました。僕ら22期は還暦を過ぎて現役を勇退する者も多くいます。これからは多くの学びの場を与えて下さった母校に恩返しを、また後進の後輩たちの支援をしていきたいと改めて今回の同窓会に参加して思ったことでした。

室戸 室戸支部だより

事務局 多田 知生 (39期)

皆様、ご無沙汰しております。お元気で過ごしてはいかがでしょうか。室戸支部総会も再開し、卒業生と先生方にお集まりいただきました。比較的少人数での開催となりましたが、小規模な会ならではの落ち着いた雰囲気の中、じっくりと旧交を温めることができました。

さて、室戸では先日、市立小学校の1校が令和6年度をもって150年の歴史に幕を下ろしました。閉校式典では校舎が一般開放され、名残を惜しむ地域の方々が大勢詰めかけていました。室戸市も例外ではなく、少子高齢化が進み、人口減少の影響を日々実感しております。日本全国のこのような状況の元で高知学芸の今後を考えますと、ますます同窓会の相互協力が必要になると感じています。同窓会が学校の



ため、地域社会のため、そして会員それぞれのためにどのような活動ができるのか、意見の交換をしております。ぜひ皆様のお知恵をお借りしたいと考えておりますので、どうぞ今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

おかげ様で創業 51 周年 ゴルフ会員権のことなら

経済産業省認可・中四国ゴルフ会員権取引業協同組合員

四国ゴルフサービス株式会社

〒781-5106 高知市介良乙 3 0 2 8

TEL 088 (860) 1201 FAX 088 (860) 1662

会長 藤本 清耕 (5期) 副社長 藤本 美和子 (6期)

関西 関西支部第27回総会

事務局長 山岡 聖子 (25期)

2025(令和7)年5月31日(土)大阪キャッスルホテルにて、第27回高知学芸高校同窓会関西支部総会を開催いたしました。

ご来賓として本部同窓会から西川博行会長(6期)、福田恵美副会長(6期)、森下表副会長(17期)、学校から橋本和紀校長先生(20期)、北川智先生(22期・英語・同窓会校内幹事兼任)をお迎えして今年も一堂に会することができ、嬉しいかぎりです。

関西支部の関田拓生支部長(12期)、岡山栄雄特別顧問(5期)からの、いつも楽しく、なるほどと納得のご挨拶から始まり、ご来賓の西川会長と橋本校長先生からは時代の流れから母校と高知の未来が楽しみでなくなるようなお話をいただきました。収支報告の際に、事務局より、今後自分たちよりも若い世代にもっと入ってきてもらう工夫をしていきたいとご説明し、大方ご賛同いただけたと思います。

第2部懇親会は、今年に傘寿を迎えられる、5期の岡山特別顧問と佐竹一彦さんのお祝いをし、高知のものを贈らせていただき、溝渕通能副支部長(12期)の乾杯の音頭で、開会。

今回のイベントは、京都大学大学院医学研究科教授の阪上優さん(25期)による講演『認知症予防の最前線:軽度認知障害を知り予防する』これは間違いなく全員が集中して聞いて、勉強できました。認知症にもいろいろな種類があり、認知機能もさまざま。特に内科的疾患が原因の認知症は治療が可能、ちょっとおかしいなというのがあれば、「もの忘れ外来」を受診してくださいとのこと、また予防としては、とにかく何をおいても『睡眠』をとること、これは阪上優さんも睡眠を削ってやってきたことを後悔しているとおっしゃっていました。あと、若いうちから、体のケア(特に目、耳、歯)、心のケア、運動習慣、地中海食(土佐の食事がよい!)、それから「同窓会!」これらが予防につながるそうで、本当にみんなに役立つ講演に大拍手でした。

閉会前に福田副会長の力強い中締めの後(このところ中締めを副会長に直接お願いするのは当日。その方



が緊張しないと、お心広くおっしゃってくださいました。)、みなさんのご支援、ご協力があり、無事に開催できましたこと、心より感謝したいと思います。関西支部総会は毎年5月最終土曜日と決まっております。もしお忘れになるようであれば「もの忘れ外来」に行かれてください(笑)。

来年2026年5月30日(土)第28回総会も、みなさん笑顔でお会いしましょう。

日本化工(株)

(浄化槽・排水処理施設の工事・管理)

代表取締役 菅 眞一(3期生)

〒780-8040 高知県高知市神田703番地

TEL(088)833-9000 FAX(088)831-4001

学生服 体操服 専門店 高知洋品

高知学芸中高等学校体操服指定店

代表取締役: 川久保 佳奈子(23期)

☎088-872-3258 FAX 088-873-0607
〒780-0841 高知市帯屋町1丁目7-13

高幡 高幡支部だより

事務局 吉本 加津代 (22期)

令和6年9月21日の土曜日、高和佳夫新支部長のもと、須崎市の「喜楽」にて高知学芸高校同窓会高幡支部第4回総会を開催いたしました。

当日、同窓会本部から西川博行会長と濱田龍太郎副会長に出席いただき、また学校からは橋本和紀校長と竹田真史先生に出席いただいて、総勢17名での総会となりました。

総会では高和支部長の挨拶に続き、橋本校長からバリバラリンピックで大活躍された鬼谷慶子選手の紹介ほか学校の現況についてお話しいただきました。

そして、支部規約の改正について承認された後は、楽しく和やかに懇親の時間を過ごすことができました。

楽しい時間は早く過ぎるもので、和気あいあいとした時を惜しみつつも、恒例の学芸讃歌を合唱しての散会となりました。

当日ご出席くださった皆さまにはこの場を借りて心



高幡支部総会に出席の皆さん

より感謝申し上げます。

また、次回の令和7年度総会についても、同じく9月第3土曜日に「喜楽」を会場に開催することで確認しておりますので、どうかみなさまの参加をよろしくお願いいたします。

OB会より

放送部

高知学芸高校放送部OBOG会創設にあたって

高知学芸高校放送部 顧問 奥山 舜一郎



学校行事の司会や、朝の校内放送で何となくその存在が知られている放送部ですが、本校が全国大会に毎年出場している強豪校というのはご存知でしょうか。

放送の大会は何を競うのか気になると思います。最も大きな大会であるNHK杯全国高校放送コンテストは、小説やエッセイを音読する朗読部門、自作の原稿を読むアナウンス部門、音声作品による創作ラジオドラマ部門とラジオドキュメント部門、映像作品による創作テレビドラマ部門とテレビドキュメント部門、そして放送部の先進的な活動を紹介する校内放送研究発表部門の7部門から成ります。

本校は朗読部門やアナウンス部門に特に力を入れています。日頃の校内放送や学校行事の司会で鍛えたアナウンス能力が活かされています。また、歴代の先輩方から受け継がれた発声発音の練習方法も部員の技術向上に一役買っています。

放送は聴いている不特定多数を考慮して発信するものですから、内容を分かりやすく伝えるための構成力や論理的思考力が鍛えられます。また、人前で発表することが多いため度胸もつきます。そのためでしょうか。国公立大学や難関私立大学へ進学する卒業生が多く、現在各界で活躍しています。

偉大な先輩方におかれましては、引き続き、本校放送部へのご支援を賜りたく、ここに高知学芸高校放送部OBOG会を創設致します。先輩方から連綿と引き継がれてきた放送部の伝統を絶やさず、更に幅広く活動を展開するため、微力ながら力を尽くして参ります。

高知への
Uターンなら！

U・Iターン就職・転職サポート

高知求人ネット

☎ 088-823-9336

8:30~17:15 (平日)



2024パリパラリンピック銀メダリスト

高知学芸高校卒業生 鬼谷 慶子(54期)さん

パリパラリンピックまでの道のり



1994年、高知市で生まれた私は、幼い頃から「食べること」と「運動」が大好きで、いつも一つ年上の姉を追いかけて遊んでいた。一緒に走り回る中で、勝つことの喜びや負けることの悔しさを知り、それが私の負けず嫌いな性格を育んだ。

学芸中学校に進学したとき、友人の勧めで軽い気持ちで陸上部に入部した。小学校のリレー選手だった経験から走ることは自信があったが、練習では先輩たちに全く歯が立たず、試合でも予選落ちばかりだった。柔道部の姉にも敵わず、「井の中の蛙」であったことを痛感した。それでも、まずは同期や先輩に追いつくことを目標に努力を重ねた。

そんな私に大きな転機が訪れたのは、父の「砲丸投げをやってみないか」という一言だった。父はすでに砲丸やメジャー、投げ方の本まで用意しており、そのサポートの中で投擲競技への道が始まった。

高校ではハンマー投げの現役の国体選手でもある中平先生と出会い、円盤投とハンマー投を専門にするようになった。中平先生の姿勢から「強さ」と「優しさ」を学び、この経験を通じて私は2度の国体出場を果たした。

中高6年間の陸上部の活動中で、陸上競技は個人競技ではあるが、厳しい練習や困難な状況も仲間がいてこそ乗り越えられるということを学んだ。

その後、父の影響で歯科医師を目指し、東京歯科大学に進学した。大学2年の時、突然の神経難病に襲われた。めまいや足のしびれがあ

り、最初は「寝れば治るだろう」と考えていたが、翌朝には立つこともできず入院生活が始まった。

治療とリハビリで一時は杖を使って歩けるまで回復したが、再発を繰り返し、長期休学を余儀なくされた。周囲が前に進む中、自分だけが取り残されたように感じた日々は本当に苦しかった。

2019年頃、治療に伴う副作用などの苦しさや、いつまでこの真っ暗闇のトンネルが続くのかという不安が限界を迎え、何度も病院に足を運んでくださっている恩師に電話をかけた。その恩師は「変えられるものを変える勇氣、変えられないものを受け入れる冷静さ、その両者を識別する知恵」この言葉を教えてくださった。この言葉をきっかけに、病気によって障害を受けた部分、受けなかった部分について正しく理解し、助けを求める事ができるようになった。そして自分にできる事を自分のペースで進んでいこうと思うようになった。

その中で出会ったのがパラスポーツだった。2023年から本格的に座位円盤投げを始め、家族や夫の支えもあり地区大会、アジア大会、世界選手権へと挑戦を続けた。そして、ついにパリ2024パラリンピックの出場権を手にした。

パラリンピックの試合直前の練習では調子が上がらず、14m台の記録に不安が募り、さらに経験した事のないプレッシャーに押しつぶされ

プロフィール

鬼谷 慶子(おにだに けいこ)
パラ陸上F53円盤投げ
所属:株式会社東京エネシス



そうだった。しかし、病気を患った20歳の頃からの歩みを振り返り、大舞台に立とうとしていること自体が奇跡であり感謝すべきことだと思った。だから「自分の全力をぶつけるだけ、結果がどうであれ自分のやってきたことに代わりはない」と言い聞かせた。試合当日、2投目で15m78を記録し、自分でも驚く結果を出した。パリまで応援に駆けつけてくれた家族やコーチの歓声が聞こえると同時にこれまでの出来事が走馬灯の様に蘇り、涙が止まらなかった。

そして、銀メダルの獲得が決まった時、私の原点である学芸中高の後輩や先生方からの応援メッセージが込められた日本国旗を掲げられる事ができた。夢のような瞬間だった。

病気になる前も含め、最高の夏を過ごした。この経験を胸に、これからも一度きりの人生を楽しんで挑戦していこうと思っている。



表彰式にて (撮影 吉村もと)

おめでとうございます

令和6(2024)年の秋と令和7(2025)年の春の叙勲・褒章で、次の卒業生人が晴れの受章に輝きました。各界での長年の功績が評価されてのものです。

おめでとうございます(敬称略)。

令和6(2024)年「秋の叙勲・褒章」

- ・旭日小綬章 森田英二(11期)
元県議会議員
- ・旭日小綬章 西村 新(12期)
元日本税理士会連合会副会長
- ・瑞宝双光章 東川美知子(8期)
元公立小学校長
- ・瑞宝双光章 吉岡 章(14期)
元高知市副市長

令和7(2025)年「春の叙勲・褒章」

- ・瑞宝双光章 高橋(明神)晶子(7期)
民生・児童委員
- ・藍綬褒章 戸梶(井上)祥子(6期)
保護司



Onitani Dental Clinic
お に た に
鬼谷歯科医院

院長 鬼谷 信美(19期)

サニーマート高須店西隣り
葛島1丁目10-75 ファミリープラザ2F
☎(088)885-2600

〔診療科目〕
歯科 一般
歯科口腔外科



高梁の堀田

〒780-8790 高知市永国寺町2番8号
TEL088-872-2177
FAX088-875-4506

18期 小野 知(旧姓 堀田)

海に捧げたお賽銭 — 奇跡の財布 —

久保 隆弘 (2期)

世の中には時として身近な思いがけない出来事から、自分自身でも驚く「人生の転機」が有ります。それも82歳の晩年なら尚更です。自然豊かな室戸岬で生まれ育ち、高知市から東京へと出て仕事にも就き、その後も子供の頃からの「田舎育ちのお山の大将」をずっと通して、「趣味は？」と聞かれると「仕事とマラソン・ゴルフに家族」と答えていました。平凡でも自由奔放で気ままに恵まれた人生だったと思います。71歳で仕事をリタイアし、夫婦で全国を遊び歩きの日々から僅か3年後に一番大切な大黒柱の女房を突然の膵臓癌で亡くし、まさに人生の暗転でした。3人の娘達の献身的な援助や、45年住み慣れた船橋の自宅も都市部に移したものの、コロナ禍も有り辛い日々でした。

ところが昨年5月に室戸岬の海岸で「夕陽を撮る」為ウロウロしている間に、財布を落としました。翌日には潮も満ちていて「海に流れた」と諦めて、「良い事が有りますように」と、「海に財布ごとお賽銭を投げた」と思う事にしました。11月に一緒にゴルフした孫娘に奇跡的なホールインワンが出て「これで報われた」と納得の感謝で



した。ところがなんと直ぐ後の12月に「財布を発見」と警察からの通報。広島から「夕陽を撮りに来た」大学教授夫妻が岩場で発見してくれました。その後この夫婦との交流が私を元

気づけ、新たなヤル気が出たのです。30歳の娘を癌で亡くして悲嘆にくれたと言う夫婦からの「自分が主人公で、自分の人生なのだから、自分で出来る事を日一杯悔いなくして、1日1日を大切に生きなければダメ！」の重い言葉に思わず頭を叩かれました。その時から私自身の考え方や動きが前に走り出しました。学芸室戸支部会初参加、東京や地元の室戸開催行事への参画や協賛にと動き、今迄散々苦勞して来た腰痛迄も努力が実ってかゴルフが復活。2月のコンペ優勝後に、4月の「月例競技会」で実に6年振り優勝の快挙。

今度は再婚相手を探すかと(笑)、晩年の隠居暮らしを前に「もうひと踏ん張りして第二の人生を」との心境は正に「奇跡の財布のご利益」のお陰だと驚き、感謝の気持ち一杯です。

(この5月の連休には広島からの夫妻と3日間室戸で楽しい交流が出来ました)。



ゴルフ場で、筆者と孫娘

名古屋でも土佐を貫く男

原田 孝彦 (7期)

名古屋で同窓生に出会うと同郷人、朝倉の校舎、年齢を忘れた自分がいっぺんに込み上げて来て土佐弁がはじけます。

「水村山郭酒旗風 杜牧(すいそんさんかくしゅきのかぜ とほく)へんしも呑まないかん。そこらの店に飛び込んであたり構わず土佐弁でワイワイ。話がはずむとやたら「ホラッ!ホラッ!ほんでホラッ!」、...「ミャーミャー」も「そやさかい」もシーンとしています。(注)ホラッは英語でYOU KNOW!と言うがよ、ホラッ!

名古屋には有名な3英傑が居ますが、こっちは長宗我部元親、岡田以蔵、民権ばあさんの3人で十分ちや!どこかで土佐人であることを周りに知らしめたい気持ちがあるのだろうか?

日本の夜明けは土佐からじゃ。学芸中1期生でもある私が見る白昼夢は、なつかしの高知新聞のコラム「ウン新聞」

▼来年度より学芸の入試面談は土佐弁とする。(理事会)

▼名古屋場所から表彰式テーマ曲変更(日本相撲協会)従来のヘンデルの「見よ勇者は帰る」から土佐の「しばてん音頭」に。

▼中高生のサッカーPK戦廃止(日本サッカー協会)「むご過ぎる」グラウンドでの両監督どうしによる箸けん勝負とする。



住所:愛知県名古屋市名東区延珠町715

電話:090-6467-8038

不思議な体験

大村 憲子 (12期)



静岡県の長者番付5番の中に入るお茶屋の子息増井玄忠和尚は戦争から帰り僧籍に入り高知護国寺で和尚をした。私は中学をさぼり護国寺で坐禅をしたがなんでこんな時間に来るのかとも聞かずお茶を点ててくれ一緒に座ってくれた。

ダンススタジオを経営した後東京に行き50歳を過ぎ帰郷した私は懐かしく護国寺を訪ねた。小林玄徹和尚が居た。座って居ると前の男性が「大村さんそれ程足組み替えたらいかん」と言われたので私は「別に坐禅に来てる訳じゃ無いので」と言うと呆れられた。その事を玄徹和尚に言うと「あーそうですか」との事。

次の首に座っている時これ程お世話になってる玄徹

和尚に私はなんて事を言ったんだ!とうんざりして、こんな足千切れてしまえと腸骨筋 大腰筋と唱えながら座っていると突然パーンと痛みが取れ頭から泡の様に溶かされ物凄い快感に包まれた。仏法で禁じられている欲を追い求めたので上手くいく訳も無かった。

そこから仏法を勉強し始めビッグバンで宇宙が生まれビッグクランチから収縮する流れを永遠に繰り返す中で私達は何度も生まれ変わり、その中で人間に生まれるのは稀で動物や草木に生まれるとの事。人間に生まれた時が魂を進化させるチャンスとの事。私は13歳位の少年かと思う。



～岐阜市雑感～

味元 宏道 (14期)



約半世紀前、大学入学時思いがけず岐阜市に来ることになり、これからどのようにやっていこうかと悩んだものです。しかし「住めば都」でそれから約半世紀経ちました。その間岐阜市も随分と様変わりしました。その様子を簡単にお話ししたいと思います。

岐阜市は人口約40万人で岐阜県の県庁所在地です。市内を長良川が流れていて、金華山の麓では鶴飼が行われています。その玄関の岐阜駅は昔、路面駅舎でしたが、今は高架駅舎になり、ホームから見る風景は昔の名古屋駅から見た風景に似ています。昔、市内には路面電車が走っていましたが、道幅が高知ほど広くなく、交通事故も多く2005年廃止されました。皆さんは美川憲一の一番のヒット曲「柳ヶ瀬ブルース」をご存じでしょう。昔、柳ヶ瀬は昼間は商店街、夜間は歓楽街となり24時間眠らない町でした。ここの病院で夜間当直していると朝3

時頃指を詰めてくる親分さんがよくみえました。中には威勢のいい猛者がいて麻酔なしで手術をやってくださいという方もいました。思わず心の中でかっこいいと叫んでいました。残念ながら今は商店街は他の都市と同様にシャッター街となっています。空洞化をどうするかが岐阜市の課題です。百貨店も昔4ヶ所(丸物、高島屋、名鉄、パルコ)ありましたが、昨年7月高島屋が閉店となり、現在は全国的にも珍しい全く百貨店のない県となりました。最近、市内には30階建位の高層ビルが6個あり、今後さらに増える予定です。また、岐阜大学の隣接地に岐阜薬科大学が移転してくるになっています。今後どのような変化をもたらすのか楽しみです。リニアも今建設中ではありますが、地盤沈下等を生じていますのでいつ完成になるのか先が見透せません。出来たら生きているうちに是非乗ってみたいものです。

簡単に岐阜市の変遷を述べましたが、時間のたつのは早いものですね。

Let's Begin! 70

週休2日スタート!!
おかげさまで
70周年を迎えました!
岸之上工務店です。

代表取締役社長
岸之上 憲一
(13期)

KISHINOUE



有限会社 森木翠香園

森木 弘道 (2期)
森木 睦雄 (15期)
上山めぐみ (37期)

事務所・小売部 高知市萩町1-4-30 電話代表(088)833-1745番
F A X (088)833-1738番



司法書士法人 フレンズ

司法書士
行政書士

山崎 勝彦
(14期昭和48年卒)

TEL 088-822-7233 (代) FAX 088-822-7989
高知市桜馬場8番15号 〒780-0929
Email: pegacha@chive.ocn.ne.jp

「英語と酒縁と感謝」

谷口 新二 (22期)

在学中に英語の成績が良かった理由が二つあります。小学校時代に通った二つの塾と、中学校時代の二人の英語の先生です。友達に誘われて入った宿毛の小松塾で学芸に入れる実力がつき、叔父の英語塾で基礎を学び苦手意識がなくなりました。入学後に養正寮寮監長の吉田順一先生の「日英帳」で成績が急上昇し、ロイジェームス似の前田先生に「模範解答」として掲示されたことで英語が好きになりました。

大学時代は英語と仏語は全てA。入社テストの英語の成績2位がきっかけとなり、1990年/2000年代の2回のデトロイト赴任(足かけ16年間)を経験しました。赴任当初、仕事でわからない英語はお客さん・同僚を質問攻めにし、スポーツバーでは周りのアメリカ人と積極的に会話し、英語が得意になり/アメリカかぶれになりました。

駐在時は主にビール・ワイン・バーボンを飲みましたが、2010年に帰国後は日本酒・焼酎を飲み始め、コロナ後は再びワインにはまり、最近ではスコッチウイスキーの沼に陥ってます。定年後はお酒の会や日本酒造りに参加

し酒縁を広げ楽しんでいますが、飲み続けられる体を維持するためにマラソンと節酒(2-3回/週の禁酒日)を継続したいと思います。

仕事・GOLF・お酒で家庭を顧みなかった自分を反省し、二人の子供を育て上げてくれた妻に感謝し、国内外の旅行を二人で楽しむことで充実したセカンドライフを過ごしたいと思っています。



近況報告

小松 広行 (26期)

皆さん、こんにちは。高知学芸高校26期の小松広行です。

私は26歳で故郷四万十市に帰り、29歳の1997年に株式会社パシフィックメディカルを設立しました。最初は養殖業向けの管理ソフトの開発・販売を行っていましたが、次第に事業は変遷し、現在では医療機関向けのシステム開発に特化しています。主に地域医療の効率化を目指し、電子カルテや地域医療連携システム、患者向けアプリなどを提供しており、高齢化社会に対応した医療体制の維持に貢献できるサービスの提供をしています。会社は現在、高知に3拠点を構え、東京、大阪、福岡を含む6拠点で196名のスタッフと共に運営しています。これからも地域医療の維持向上を目指し、事業を拡大していきます。

趣味は釣りとゴルフ・筋トレで、週末には会社の近くの漁船から沖ノ島周辺で四季折々の魚を釣っています。春はマダイ、夏はケンサキイカ、秋はカンパチ・クエ、冬はヒラメと、宿毛湾周辺は非常に多様な魚が釣れる場所です。自然との触れ合いがリフレッシュのひとつです。

これからも地域や同窓会とのつながりを大切に、引き続き努力していきたいと思っています。皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



Insurance Agency
株式会社 T-ONE

高知県高知市高須新町3-10-24 ☎ 0120-60-5227

取締役会長 都築 定宜 (7期昭和41年卒) 代表取締役副社長 都築 弘典 (35期平成6年卒)

今年も走ったぜよ、高知龍馬マラソン!

岡崎 孝博 (29期)

学生時代を京都で過ごし、縁あって徳島県に「水産職」として入庁し、はや30年が過ぎました。近ごろはお正月やお盆など、年3回ほど父母の顔を見に実家・佐川町斗賀野へ里帰りしています。仕事では、他部局への異動もありましたがほぼ一貫して農林水産部で「漁業振興」に携わってきました。特に、徳島を代表する魚介類「ハモ(鱧)」に関する試験研究・販路拡大に取り組んだことが若い頃の思い出です。残り少ない「現役生活」をいかに過ごし、第二の人生につなげていくか、頭を悩ませる歳になりました(笑)。

さて、2003年から「ダイエット」を目的にマラソンをはじめ、なんとか「理想体重」をキープしているところ。昨年秋から今年春もあちこちでハーフ3回やフル5回を走り、仲間との小旅行・打ち上げを大いに楽しみました。「高知龍馬マラソン」では、レース前日に「学芸時代」の旧友2人と、美酒、旬の創作料理に味わいつつ、近況報告や昔話に花を咲かせ、楽しい一夜を過ごす。また当日

は、沿道で応援してくれ(写真は「12キロ付近」で、左が筆者、右が同級生の橋本氏)、大いに元気をもらい5回目の完走を果たすことができました。天気にも恵まれ最高～。



毎年、同窓会・徳島支部会にも参加させてもらい、学芸讃歌を歌っています。母校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

図書館も好きだし人間も好き

森(山本) 笑 (34期)



私は、中学高校と学芸で過ごし、「図書館の人」になりたいと思い、卒業後は同志社大学文学部に進学、そこで念願の司書資格を取得しました。しかし司書就職の門戸の狭さに一旦は夢をあきらめ(就職氷河期でした)、高知に帰って一般企業に就職、2年後に土佐市役所に転職しました。市民課や未来づくり課、生涯学習課等を経て、現在は土佐市立市民図書館に館長として配属されています。まさかここにきて夢が叶うとは!資格を活かし、環境にも同僚にも恵まれ、充実した日々を送っています。また、その中で、学芸高校の『図書室だより』や『校報誌

animo』に寄稿する機会をいただき、母校とのご縁が続いていることに感謝しています。

図書館で働くには、周囲の情報にアンテナを張り、視野を広く持つ必要があると思います。思えば、地方公務員になる前に一般企業に勤務していたことも自分の肥やしになっていると思いますし、市役所に入庁して配属された各課の業務、それを通して出会ったたくさんの方々、プライベートで参加している地域活動なども視野を広げてくれています。

最近『高知に自然史博物館をつくる会』の活動にも参加しており、会員の皆さんの熱い思いに日々刺激を受けております。

天命を知るといわれる歳になりましたが、好奇心は尽きることなく、家族にやや呆れられつつも、今の日々感謝し、毎日笑って過ごせたら何よりだと思っています。



中内功法律事務所

弁護士 中内 功(33期) 〒780-0861 高知市升形3番11号 徳弘ビル3階
 弁護士 高林 藍子 TEL 088-822-8885 FAX 088-854-3210

競争

吉岡 秀高 (39期)



学芸での学生時代、私はバスケット部に所属していました。私の代のバスケット部は全国大会出場のパレー部を横目に見ながら最終的に自分たちの目標に辿り着くことができず。校風からは考えにくいほど個性がバラバラのメンバーの集まりでした。それでも3年または

6年間、上を目指して本気でバスケットに打ち込んだことだけはメンバーの共通事項だったと思います。練習試合で強豪校に何度か勝利したときのチームの一体感と喜びは今も大切に心の中に留めています。学芸の体育館で(当時バスケ部は週半分が屋外練習でした…)共に汗を流した仲間とあの頃に戻ってもう一度目標に挑戦したいと今でもふと思うことがあります。

私は大学在学中に高知市内で家業の模型・玩具店を引き継ぎ、今に至っています。このコーナーは15年前の投稿に続き2回目です。

数年前まで2人の子供が保育園・小学校の時分にそれぞれのPTAに携っていました。経験を通して強く感じ

ることは、現代の教育現場の「みんなが目指す・みんなが目指す」体験が自分たちの時代より少なくなっていることへ懸念です。組織で目標を立てると少なからず組織内でも競争になり優劣がつきますから今の時世、理解できる部分もあります。しかしながらこれから多くの子供達は競争の経験が少ない状況で、組織での自分の立ち位置を知る術もないまま大人になり、突如AIがはびこる一極集中型の社会に入っていくこととなります。

私自身、結果が振るわなくても学校での競争や真剣勝負で学び得たことがたくさんありました。そんな体験から私の店で主催するイベントはできる限り競争のニュアンスを入れ、ワークショップでは感性を養うことをテーマに細々と活動を続けています。地方だからこそできる教育やビジネス・盛り上げ方があると信じていますが、極端な人口減少は子供達の組織での活動や競争の場を更に奪いかねません。幕末の時代から高知県は優秀な人材を外に輩出するばかりで地元に残る人間としてはもどかしい…。「ふるさと・高知をよくする」同じ目的を持つ個性の違った仲間がたくさん増えることを願っています！

電動車いす型モビリティの企画開発

井上 正太郎 (44期)



皆さんこんにちは。44期の井上です。

大学院修了後、トヨタ自動車に入社し15年が経ちました。入社後13年間はシートや内装の設計を担当していましたが、現在は段差や不整地を走破可能な電動車いす型モビリティ「JUU(ジェイユー)」の企画開発のチームリーダーを務めています。

学生時代から福祉に関心があり、2年前から現在の業務に携わるようになりました。

下肢障がいのある方をはじめ、車いす利用者は移動に多くの制約を感じています。例えば、電車を利用する際、ホームと電車の間や段差が大きいと一人では乗れず、駅員にスロープを依頼する必要があります。調整に

時間がかかるだけでなく、お願いすること自体が精神的負担となることも。また、段差のあるお店への入店を諦めざるを得ないことも少なくありません。こうした課題を減らし、車いすユーザーの方も当たり前「行きたいところに自由に行き、そこでしかできない体験ができる世界」の実現を目指し、日々努力しています。

従来の部品設計からプロジェクト全体の企画やビジネス化まで視野を広げ、責任とやりがいを感じながら取り組んでいます。課題は多いですが、少しずつ前進中です。

プライベートではキャンプが趣味で、妻と小4の娘、小2の息子と一緒に、毎月のように長野や岐阜などを訪れています。自然の中で昼間から飲むビールは格別です(笑)。

最後に、この投稿を通じて新たなご縁が生まれることを楽しみにしています。



心に残る思い出は…

宗石写真館

SINCE 1935

〒780-8072 高知市曙町1-6-4 TEL088-844-0044 FAX088-843-2083

「土佐酒とともに」

古 味(有光) 由 (50期)



私は実家が酒蔵なのですが、全く日本酒に興味がなく、看護師になりたくて県外の大学に進学した後、そのまま大学附属病院に就職し、丸7年、NICUを中心に勤務をしておりまし

た。しかし、日本酒の世界は一度興味を持ち始めるととても面白く、現在は安芸市の実家で日本酒の製造販売をしています。日本酒の世界に飛び込むことになるとは全く想定しておらず、右も左も分からない状態でのスタートで、いまだに大変な事ばかりですが、周りの方々の

おかげで日々楽しく過ごしております。

土佐酒はバラエティ豊かで、甘みのあるフルーティーな日本酒から、すっきりとキレのある日本酒まで、たくさんの味わいがあります。日本酒は、様々なジャンルのお料理に良く合うのですが、その中でもベストマッチの日本酒とお料理を見つけられた時には、とても嬉しくなります。2024年12月には日本の「伝統的酒造り」が、ユネスコ無形文化遺産に登録をされ、世界的にも少しずつ注目をされてきています。弊社は手造りの小規模な酒造会社ですが、伝統を大切にしながらもより良い酒質の「心の栄養となれるような、やさしさのある食中酒」を目指して製造しております。今後も高知県安芸市で酒造りを続けられるよう、日々学んでいきたいと思っています。それぞれの個性が光る「土佐酒」をぜひ皆さまにも楽しんでいただけますと幸いです。

日々、修業中

北 村 美由羽 (58期)

『星を見ることは 人の心を豊かにし 友人との和を広げ そして広大な精神を養うことです。』これは、日本のアマチュア天文家 関勉さんの有名な言葉です。私は、この言葉をモットーに、高知みらい科学館でプラネタリウム解説員として、星空を案内しました。幸いにも、高知新聞のただ今修業中に載せていただき、ファンも増えて、スターの気分を味わうことができました。この場をお借りして、感謝申し上げます。この会報誌が届く頃には、星になっています(退職しています)が、空を見上げることは続けていきます。

さて、季節によって見える星座は異なります。みなさんにも空を見上げてほしいので、簡単に紹介しましょう。

春は暖かくなって、空を見上げるにはちょうどいい季節。お花見しながら空を見上げてみてくださいね。

夏は、暑いですが、よさこいの時期になると、夏の大三角が頭の上に昇ってきます。今年は、織姫さんと彦星さんは逢えるのでしょうか？

秋は、明るい星が少ないですが、たくさんの物語があ

ります。読書の秋といえますから星空を読んでみてはいかがでしょうか？

冬はとても寒いですが、空気が澄んでいて、明るい星がたくさん輝いています。外が寒くて長い時間見られないので明るい星がたくさんあるのかもしれませんがね。

さあ、みなさんはどの季節の星空が好きですか？

今年巳年です。ヘビのように新しい自分にアップデートできるように、日々、修業中です。



医療法人 三和会

国吉病院

消化器内科 / 循環器内科 / 緩和ケア内科 / 整形外科 / 消化器外科 / 外科 / 肛門外科 / 泌尿器科
放射線科(画像診断室) / 呼吸器内科 / 内科 / 内科(ペインクリニック) / 心療内科 / 神経内科 / 精神科
リハビリテーション科 / リウマチ科 / 脳神経外科 / 心血管外科 / 眼科 / 麻酔科

[ADD] 〒780-0901 高知市上町1丁目3番4号

[TEL] 088-875-0231 [FAX] 088-875-0233

[URL] <https://www.kuniyoshi-hp.or.jp>

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○

14:00~17:00 ○ ○ ○ ○ ○ ×

院長 国吉 宣俊 (17期)

理事 国吉 和重 (10期)

放射線科 小松 幸久 (13期)



9期 「あっぱれ9期生、日本一の後期高齢者に」

期幹事 井上 省子

令和6年9月14日城西館にて、羽方雅彦先生、渡辺倫子先生のご臨席を賜り9期生の同窓会が開催され、81名の懐かしい笑顔が弾けました。前回は卒業50年記念、前々回は還暦記念、さて、今回は？ そう、遂に後期高齢者突入記念同窓会です。後期高齢者といえどもまだ初心者、皆んなでなれば怖くないのです。会場には「あの頃コーナー」が設けられ、使い古した教科書、隠れて読



んだ週刊誌、高知新聞アーカイブ版、当時人気のチョコの空箱や内田文昌堂のサービス券までもが展示。「9期あるあるクイズ」では、先生の代役で授業をした友は誰？ ○○先

生の口癖は？ パンの無人販売で人気のパンは？ 等々、難問に珍回答。翌日の親睦ゴルフでもプレーにお喋りにと大きな花が咲きました。団塊の世代最後の年に生まれた私達9期生は、日本で一番人口が多く、何をすることも競争や試験。とにかく遅いのです。閉会後の会話「次いつやるが？」「最後の2人になるまでやるぞね！」

次はいつ？をヒントに、この先の「長寿を祝う節目」に同窓会を開催したら……と妄想が膨らみます。喜寿(77歳)傘寿(80歳)→男女共に平均寿命前。余裕で出来そう。米寿(88歳)卒寿(90歳)→頑張ればギリギリ。幹事は外部委託。補聴器と杖。白寿(99歳)紀寿(100歳)百一貫(101歳)→開催したら高知新聞一面。付添い、医師の待機。茶寿(108歳)皇寿(111歳)→想像すら困難。頑寿(119歳)昔寿(120歳)大還暦(121歳)→……そして誰もいなくなった……。締めくりは、天寿(250歳)→時は西暦2200年。全員向こうで同窓会。学芸9期、めでたし、めでたし。ところで、最後の2人って……誰？

10期 卒業55年同窓会

期幹事 門田 義仁

学芸高校10期の学年同窓会が、2024(令和6)年6月8日(土)にサウスブリーズホテルで行われました。今回は12時から15時までの昼間の開催でした。各クラスの幹事の働きかけのおかげで、総勢70名の参加をいただきました。県外からの帰省組は21名と参加者の3割でした。昼間の3時間はゆっくり話が出来て良かったと皆様から好評いただきました。2次会は少人数分で準備していましたが、それでは足りず10名分ほど席を確保していただきました。3次会、4次会と向かった強者もいたようです。まだまだ元気な10期を見せていただいた同窓会でした。次会の同窓会は、皆さ



んの健康状態を考慮して、少し早くとの希望がありましたので、3年後の喜寿の年に行おうかと考えています。以上、10期の同窓会報告でした。

有限会社 立仙種苗店

立仙 耕一 (2期)
立仙 善久 (31期)

〒784-0001

安芸市矢ノ丸1-10-1

TEL0887④1081 FAX 0887④2655

ビジネスホテルチエーン

(有) タウン
(有) 織田観光サービス

代表取締役 織田 耕作
(2期昭和36年卒)

〒780-0863 高知市与力町9-5
電話<088>875-3121

sakura
BAKERY

MADE IN TOSAYAMADA

明神 充 (20期)

明神 仁美 (22期)

天然酵母と
国産小麦の
パン

@Instagram : sakurabakery_kochi

12期 お花見同窓会

期幹事 坂本 紀子

まだ肌寒い2025年3月30日土曜日、高知城ホールでお花見同窓会を開催しました。当日は50名程の出席がありました。中学3年B組担任だった尾崎光市先生(新任で初めての担任でした)も出席してくださり、懐かしく楽しい会となりました。

〇〇さん?〇〇君?誰? 名札を書いてもらいながら確認します。久しぶりの人、卒業以来の人、ついこの間会った人、受付でひと盛り上がりしました。

各クラス毎に壇上に上がり自己紹介と近況報告。まだ現役で仕事している人、親の介護の終わった人、孫のお世話がひと段落ついた人、趣味を楽しんでいる人等様々です。

会場のあちこちで昔話に花が咲いて賑やかです。



懐かしく楽しい会はあっという間に終わりました。

卒業から46年経ち、まだまだ話足らず来年も集まりたいなという話も出ています。計画してご案内しますので、みなさんお友達に声をかけて是非参加してください。

15期 「15期生 卒業50年同窓会開催～もう古希やと!」

幹事のひとり 藤田 昌三

「久しぶやね～!元気やったかえ?」「お互い髪が…なくなったにゃあ」「孫はいくつになった?」などなど、会場のあちこちで「おじさん、おばさん」の会話に花が咲いています。

令和6年10月19日金曜日に15期生卒業50年を記念した同窓会を開催いたしました。

さて、私ども15期は昭和46年4月入学し、昭和49年3月卒業で総勢412名が机を並べて高校生活を送りました。ただ残念なことに50年の間に25名程度が逝去されています。

当日は7クラス合計112名の出席があり、ゲストとして西田幸信先生(当時B組担任)と尾崎光市先生(中学校時代の3年D組担任)をお迎えし盛大に開催しました。今まで5年ごとに開催してきましたが、コロナの影響もあり平成29年8月以来7年ぶりの開催となりました。久しぶりに懐かしい顔、懐かしい声に触れ、一気に青春時代の日々がよみがえりました。

早いもので70歳古希を迎えま

す。「古来より70歳まで生きる人は稀である」と言われますが、平均寿命が87歳、82歳となった現代では70歳はまだまだ土佐弁で言う「こびんす」です。まだバリバリ仕事をしている者、趣味を生きがいに楽しんでいる者、孫やらいに奮闘している者、第2第3の青春を楽しんでいる者などなど、多分多くの同級生が古希を迎えたとはピンと来ていないと思います。ただ一つの年齢の区切りとして今まで辿った歩みを振り返りつつ、きれいな年の取り方をし「喜寿、傘寿、米寿」と迎えたいと思います。

結びに「学芸讃歌」を声高らかに合唱し、次回開催まで元気に過ごすことを誓い合いお開きとなりました。



高知学芸高等学校15期卒業50年同窓会

(2024)
令和6年10月19日 於：三翠園

19期 前期高齢者入り同窓会

A組 吉井 太一

昨年の9月14日、前期高齢者入り記念の「65歳の同窓会」を開きました。その準備段階で同級生の一人が「ゴミ拾いのボランティア活動をやらん？」と提案。学芸高校同窓会ホームページで広く呼びかけることになりました。残暑厳しい時に果たして何人集まるのかという不安は否めませんでした。集まった有志8名で「夜のビールが美味しゅうなる。」を励みに、吹き出す汗を拭いながら土佐市の仁淀川河口大橋付近の海岸を清掃したことでした。

そしてその夜に始まった、ザ クラウンパレス新阪急での同窓会。60歳の「還暦同窓会」以来の集いとなりましたが、急な段取りにもかかわらず、80名近い仲間が参集しました。中には久しぶりに同級生と顔を合わせるメンバーもいて、名前の書かれたネクストラップを見ながら歓談。同じクラスの友だちが出席しなかったら不安だと、最初は出席を渋っていた人も、会場に入るや否やスイッチが入り、ほとんど食わずに話し込んでいる姿がありました。

2時間を超える同窓会は、あっという間に時間が過ぎていき、料理も食べきれていなかったため「今から各自食事をとりながら歓談してください。」と進行係が呼びかける盛況ぶり。出席者のクラスごとの写真も慌ただしく撮影し、後日思い出を振り返りつつ、出席できなかった同級生たちのためにと、写真は学芸同窓会19期のホームページにアップされました。

さあ、次は70歳の「古希同窓会」。今回以上に広く呼びかけて、旧友との親睦をより一層深める集いにしたいと



文系 A・B組



文理系 C・D組



理系 E・F・G組

幹事は気合が入っています。19期生の皆さん、5年後に元気にお会いしましょう。

20期 「年金もらえる歳になったぞ! 学芸20期同窓会」

期幹事 松本 敏

2025年1月3日、城西館にて、高知学芸高校20期生の同窓会を開催しました。当日は83名が参加し、恩師の川村邦宏先生(E組担任)、西田幸信先生(B組担任)にもご出席いただきました。

20期生の同窓会は、2009年に開催した「卒業30周年記念同窓会」以来となります。本来は20期生が還暦を迎える2020年に再び開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で延期となり、昨年、幹事が集まって準備を進め、「年金もらえる歳になったぞ!同窓会」と題し、15年ぶりの再会が実現しました。

当日は、学年幹事の籠尾博章君(E組)が司会を務め、まずは橋本和紀君(B組/高知学芸中学高等学校校長)による開会の挨拶。続いて、恩師の先生方にご登壇いただき、当時の思い出を語っていただいた後、花束を贈呈しました。

乾杯の発声は小林達司君(B組/四国銀行 頭取)が



担当。ここから大宴会がスタートし、恩師や旧友との懐かしいひとときを心ゆくまで楽しみました。武村安通君(F組)による余興や記念写真の撮影なども行われ、終始なごやかな雰囲気にも包まれた時間となりました。

最後に、樋口毅彦君(E組/とさでん交通(株)代表取締役社長)の閉会の挨拶をもって会を締めくくり、再会を誓いながら、盛会のうちに終了しました。

34期 50歳記念同窓会

2024(令和6)年8月17日土曜日、よさこい祭りの熱気も冷めやらぬ残暑の中、高知学芸高校34期生の50歳記念同窓会を城西館で開催いたしました。

直前に発表された南海トラフ地震臨時情報や台風7号の直撃、新型コロナの第11波が心配されましたが、当日はお天気にも恵まれ、全国各地から総勢100名が集まりました。恩師である瀧石誠司先生、宮本進一教頭先生、澤近正仁先生、柳瀬典広先生にご来賓いただき、先生方を囲んで懐かしい話に花を咲かせて楽しい時間を過ごすことができました。A組森安さんB組大沢(旧姓森本)さんの司会のもと先生方からご挨拶頂き、前回同窓会の後惜しくもご逝去された二神一夫先生、鶴川行広先生、森 潤一先生へ黙禱を捧げ、C組岡林さんの乾杯の挨拶で開会となりました。会場には卒業アルバムコーナーを設け、30年以上前の日々思いを馳せ、まるで高3の教室にタイムスリップしたかのように時は流れてあつという間の2時間半となりました。クラスごとに先生を囲んで記念写真を撮り、当時と同じ音源で学芸讃歌を歌い、会費の余剰金は全て母校学芸高校に寄付をすることの同意を得て、一次会はお開きとなりました。

期幹事 山田(旧姓住友)るりこ

二次会にも67名が参加、遠方のため一次会には間に合わず二次会から駆けつけて下さった同級生もおり、皆で迎えて深夜三次会まで盛り上がりました。

学芸讃歌の音源を含めご協力くださった同窓会森下先生、お忙しい中ご来席いただきました先生方、会場を整えてくださった城西館のB組岡本さん、本当にどうもありがとうございました。

2028(令和10)年8月第一土曜日は34期生が同窓会総会懇親会の学年幹事となります。当日は大勢の34期生を集めて、総会を盛り上げたいと思っておりますので、34期の皆様方のご参加とご協力を宜しくお願い申し上げます。同窓会の皆様にも重ねてご協力の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。



41期 卒業25周年同窓会

令和7年1月2日、私たち41期生は3度目となる学年全体同窓会を開催しました。前回は5年前、コロナが本格的に世間を騒がせる直前でした。高校卒業から早くも25年。県外や海外で活躍しているメンバーも多く、普段はなかなか集まるのが難しいですが、毎回みんなの顔を見るとあの頃の面影に自然と笑顔がこぼれ、時間の経過を忘れるかのように会話が弾みます。今回の同窓会でも大流行したインフルエンザやコロナにより急遽欠席となってしまった仲間がたくさんいて残念でしたが、80人を超える同級生と5人の先生方に参加いただき、楽しい時間を過ごすことができました。

10年ほど前、1回目の同窓会を私が企画したきっかけは、元クラスメイトの1人が自ら命を絶ってしまったという知らせを受けたことでした。もっと連絡を取り合っていれば、少しでも時間を作って集まれる機会をもっていれば違う結果があったのではないかと思います、無性にみんなに会いたくなりました。すぐに各クラスの幹事を集

期幹事 橋村(旧姓江内)志穂



め準備を開始。お盆休みに開催した会には150人以上が集まりました。それから約5年毎に開催しています。

かけがえのない学生時代を共に過ごし、大人になった今も悩みや喜びを分かち合えるたくさんの仲間がいることは、私にとって最も大きな財産だと今改めて感じています。学芸が繋いでくれたこの関係をこれからも大切にしていきたいと思えます。

54期 30歳記念同窓会

2024年12月30日、高知市内にて高知学芸高等学校第54期生の30歳記念同窓会が開催され、約80名が参加いたしました。成人式の際の同窓会以来、約10年ぶりの再会となりましたが、多くの方の顔はすぐに分かり、懐かしさとともに当時の思い出がよみがえりました。

現在は進学や就職を機に県外に住んでいる方も多く、大学時代以来の再会となる方も少なくありませんでした。当日は、クイズ大会などの参加型企画も用意されており、会場は終始和やかで賑やかな雰囲気に包まれておりました。



再会を通じて改めて感じたのは、同じ学び舎で青春時代を共に過ごしたことによる、言葉にしがたい安心感でした。家庭を築いた方、仕事に邁進している方、Uターンして高知に戻られた方など、それぞれ異なる道を歩んでいる中であっても、共通の原点を持つ仲間とのひとときは、かけがえのないものとなりました。

嘉重 愛梨



30歳という節目を迎え、10年という月日の重みを実感すると同時に、この先さらに変化していく自分たちの姿が楽しみでもあります。

また、このような機会を通じて、在学中には気づくことのなかった先生方の教育への想いやご指導の尊さを改めて感じることができました。進路だけでなく、生き方や価値観といった人生の指針となる大切なものを与えてくださった母校・学芸に、心より感謝申し上げます。

64期 64期同窓会

2025年1月12日、ザ・クラウンパレス新阪急高知にて、高知学芸高校64期生の同窓会を無事開催しました。この日は高知市の成人式と重なり、64期生173名が参加し、懐かしい友人たちと再会を果たしました。また、川内野真幸先生、小池直子先生、米田進先生、北川智先生、中平信年先生、横山珠理先生、竹内渡先生、池雅宏先生、上田宜尚先生にもご出席いただき、会場は温かな雰囲気に包まれました。

開会に際し、当時C組の濱田莞太君が司会を務め、池先生から20歳のお祝いの言葉をいただきました。その後、A組の弘田紳之介君の乾杯の音頭で会が始まり、参加者は美味しい料理を味わいながら、恩師や友人との久しぶりの時間を楽しみました。

また、在学中の感謝を込め、先生方へ花束とマグカップを贈呈しました。先生方からは、私たちの成長を喜ぶ温かい言葉をいただき、学芸で過ごした日々の特



期幹事 市川 桃子

別さを改めて実感しました。

余興としてビンゴ大会も行われ、会場は笑顔と歓声に包まれました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に当時F組の芝由季菜さんが閉会の挨拶を行いました。「今日気づいたのは、私たちの根本は学芸で培ったあのころのままだということでした。先生方の変わらぬお姿を拝見し、高知学芸という帰る場所があることを改めて感じました。この場所があることが、私たちのこれからの支えになると思います。」

64期生同士の絆を再確認し、次回の再会を楽しみしながら、同窓会は盛況のうちに幕を閉じました。

サービス付き高齢者向け住宅

グレースコンシェル 廿代

The Grace Concier Nijudai

人生で一番の時間を
～心満たされる暮らしをここに～

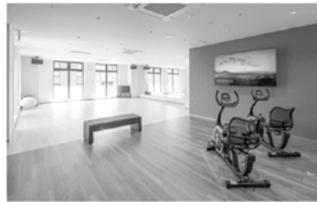
グレースコンシェル廿代は、人生の楽しみ、充足の時間を刻むシニアのためのサービス付き高齢者向け住宅です。地上12階建ての鉄筋コンクリート造で総戸数60戸。居室は4階から11階まで全個室となっており、お一人からお二人のご入居が可能です。2階・3階は生活を豊かに楽しく過ごせる共用スペースになります。

高知学芸高等学校
ご卒業特典

学芸ご卒業者とそのご家族、
およびそのご紹介者には、
ご入居一時金・敷金が不要です。



2F レストラン「旬菜千葉」&ステージ



3F フィットネスサロン



3F 施術室



3F 和室



3F キッチンスタジオ



3F 娛樂室



3F 美術・陶芸室



12F スカイラウンジ

ご入居者募集・体験入居受付中

宿泊プラン・料金表(1室につき)

宿泊プラン	宿泊料金	宿泊追加
1泊2日	4,500円	最大+3日
2泊3日	8,000円	最大+2日
3泊4日	11,000円	最大+1泊

※ご家族とご一緒の宿泊も、同料金です。※すべてのプランは素泊まり、食事代金は別途です。
※宿泊追加料金1泊あたり4,500円です。※介護用設備のお部屋もご準備しております。

お一人様入居時月額料金表 ※管理費には水道光熱費が含まれます
※この表での食費は、1日3食×30日分として算出しています。

	階	部屋タイプ	家賃	管理費	食費	月額	
北側	一般居室	8~11階	I~Lタイプ	12.8万	13.5万	6万	32.3万
	支援居室	6~7階	A~Dタイプ	12.8万	11万	6万	29.8万
	介護居室	5階	A~Dタイプ	12.8万	9.5万	6万	28.3万
		4階	A~Dタイプ	12.5万	9.5万	6万	28万
南側	一般居室	8~11階	Nタイプ	13.7万	13.5万	6万	33.2万
	一般居室	8~11階	M・Oタイプ	15.2万	13.5万	6万	34.7万
	支援居室	6~7階	E~Hタイプ	13.7万	11万	6万	30.7万
	介護居室	5階	E~Hタイプ	13.7万	9.5万	6万	29.2万
		4階	E~Hタイプ	13.5万	9.5万	6万	29万

2階レストランでのお食事は、
お一人様ごとに承ります。
居室での調理、近隣へのお
出かけも自由です。

朝食750円・昼食500円・夕食750円



【お問い合わせ】

お問い合わせいただいた後、折返し担当者をご対応させていただきます。

IME アイ・エム・シーパーソナルケア

グレースコンシェル廿代 営業広報室担当：野町・山本

高知学芸高等学校 第16期卒業
アイ・エム・シーグループ 代表取締役会長 山本 速男



高知県高知市廿代町15番25号 Tel.088-855-8658 平日9:00~17:00

安心してご入居いただくための新たなサポートサービスが誕生。
入居前後の資金計画やシミュレーション、専門家による
法律・終活支援など、ご希望の方に資料をお送りしています。

岡田クリーニング店

- ・シミ抜き
- ・衣類全般、寝具、特殊品も承ります。
- ・町内で唯一の職人がいる店
- ・近隣地域への無料集配サービス

〒781-2110
高知県吾川郡いの町 3630 池田 怜司
TEL : (088)892-0312 (43期)
Instagram : @ino.okada.cleaning



KOKUBAN
OFFICE & CAFE

株式会社KOKUBAN 田村 樹志雄 (36期)
〒781-2110 高知県吾川郡いの町3175



高知学芸高同窓会

室戸支部 支部長
松田 昌文 (26期)



植物画と工芸の蔵

ギャラリー ほたにか

土佐和紙工芸村内 (蔵)

〒781-2135 高知県吾川郡いの町鹿敷1225

TEL・FAX 088-892-2778

<https://www.gallery-botanica.com>

医療法人 高浜内科
楽デイサービス・デイケア

高濱真美 (21期)
愛知県西尾市上町菖蒲池14-1

こころとからだの発達相談室
えいところ
eitocoro

高知市東久万177-1
088-813-3400

高知県受験界をリードする進学塾
土佐アカデミー
潮見台教室

代表 藤川 聡詩 (31期)

781-5108 高知県高知市潮見台2丁目211
TEL. 088-860-5233
shiomidai-jukumail@tachyon21.com

さたけ歯科クリニック

〒780-0072 高知市杉井流 5-7
TEL (088) 885-3100

31期 佐竹宣哲

with real athletes since 1984
Marmi
SPORTS
マルイスポーツ

代表取締役 井上 浩明 (31期)
〒781-1101 土佐市高岡町甲698-2
TEL 088-852-5410

まじめに、まっすぐ
KONOIKE
鴻池組

株式会社鴻池組

「幸せ」をつくる、支える、共にする。

鴻池組は、強みの環境分野を中心に
価値ある技術で社会から選ばれる企業をめざします。

本社：〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町 3-6-1
(本町南ガーデンシティ)

TEL.06-6245-6500



中山 貴 (31期)

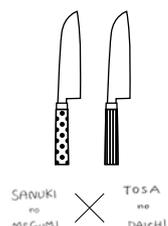


モノを大事に、暮らしをていねいに生きる。

笹岡鋏製作所
<http://www.hasamiya.jp>

鍛冶師
笹岡 悟 (31期)

〒781-2121
高知県吾川郡いの町池ノ内85-7
tel / fax 088-892-1450
✉ info@hasamiya.jp



31期生の広告

ありた歯科

〒781-8008 高知市潮新町 2-12-34
TEL&FAX 088-833-0085

【診療時間】 予約制
9:00~12:30, 14:00~18:00

【休診日】
日曜日、祝日、水曜日
但し、祝日のある週の水曜日は診察



歯科医師 有田 佳史

こり・痛み・疲労回復・不眠・美容・体調管理などに
土・日営業♪ 高知市指定施術所

秋澤鍼灸治療院

akizawa kazuhiko
秋澤 紀彦

住 所 : 〒780-0945 高知市本宮町79
電 話 : 088-844-4144(予約制)
営業時間 : 9時~18時(定休:火曜日)
駐車場あり

株式会社 コンパス

建築物の構造設計や耐震診断について何でもご相談下さい。

〒761-8014 香川県高松市香西南町555-5
TEL 087-880-0333 FAX 087-880-0222
URL <http://www.compass-sekkei.co.jp/>

31期 戸田友一

zoom

西田 順也
テクニカルサポート
マネージャー

junya.nishida@zoom.us
050-1790-0094

ZVC Japan 株式会社
<https://zoom.us/>



地域と共に成長を続けるカミノバグループはシステム開発からホームページ制作 DTP から動画制作、ヘルプデスクまで幅広くビジネスをサポートします。



株式会社 カミノバ

〒780-0056
高知市北本町1-10-31 高知八州ビル3F
TEL.088-821-6680

片岡 淳 (31期)



代 表
土 本 誠
Tsuchimoto Makoto
<https://oishii-ringo.jp/>

〒789-1213
高知県高岡郡佐川町ニツ野 308 番地
TEL(0889)22-0206 (F兼)
携 帯 090-6289-0023
 @tsuchimoto_kanakou

医療法人オリーブ



大川内科

循環器内科・内科・老年内科

院長:大川 真理 (31期生)

住所:高知市萩町 1 丁目 6 番 52 号

(棧橋通4丁目電停東へ 400m)

電話:088-855-7717

ホームページ <https://ookawa-naika.jp/>

伊藤まこと司法書士事務所

31期 伊藤 真

不動産登記 (売買、贈与、相続、住宅ローンの借換等)

商業登記 (会社設立、役員変更、目的変更、増資等)

簡裁訴訟代理等関係業務、裁判所への提出書類の作成 (訴訟、成年後見、相続放棄等)

遺言書作成支援、終活相談、その他法律相談

〒780-0916 高知市城北町 1 番 3 号 (小津高校東隣) TEL 088-823-3350

学校行事

令和6年度高校体育祭

9月12日に高校の体育祭を行いました。6月下旬に体育祭実行委員会を立ち上げ、約2ヶ月間準備をしてきました。優勝は「黄組」です。ひょっとすると「黄組」の優勝は初めてではないでしょうか。



令和6年度高校研修旅行

10月29日から11月1日まで、高校2年生は3泊4日の研修旅行に行ってきました。今回から飛行機移動が実施された旅行は概ね天気も良く、予定通り全日程を終えることができ、思い出に残る素晴らしい旅行となりました。

令和6年度高校卒業式

1月30日第66回高知学芸高等学校卒業式を執り行いました。静寂に包まれた体育館にて、学芸賛歌斉唱、卒業証書授与、賞記授与、学校長式辞、理事長挨拶、後援会長祝辞、在校生送辞、卒業生答辞の順で粛々と式が進みました。

卒業生答辞では中村多緒くんが、学業や吹奏楽部の活動に励んだ学校生活を振り返り、今まで支えてくれた家族、教員、後輩、そして同輩に感謝を述べながら在校生へ力強いメッセージを送ってくれました。



令和6年度生徒の受賞・活動

高校男子ソフトボール部 全国大会3位

5月3～5日に福井県で行われた「第11回全国私学男子ソフトボール大会」に本校ソフトボール部が出場し3位に入賞しました。学芸は予選リーグを全勝、決勝トーナメントも準決勝まで勝ち進みました。準決勝では敗れましたが、3位決定戦では延長戦の末、見事勝利し3位入賞を果たしました。また、大会優秀選手に3年の藤田歩くん（当時3年・66期）が選出されました。



第71回 高知県テニス選手権 ジュニアの部 ダブルス3位

6月1日、6月8～9日で行われた第71回高知県テニス選手権ジュニアの部で、田岡拓真くん（当時1年）・三宮康介くん（当時1年）ペアが3位入賞し、香川県で行われた四国大会に出場しました。



高校放送部 3部門で全国大会へ出場

6月8～9日に土佐高校で行われた第58回高知県高等学校放送コンテスト兼第71回NHK杯全国高校放送コンテスト高知県大会で、放送部が以下の成績を収めました。

- ◆アナウンス部門 第3位 松崎絵美理さん（当時2年）
→全国大会
入賞 釣井琴花さん（当時1年）
中平綾乙さん（当時1年）
- ◆朗読部門 入賞 大原悠璃さん（当時1年）
嶋村諒大さん（当時2年）
- ◆創作ラジオドラマ部門 第2位『幸せと波を問う君へ』→全国大会
- ◆創作テレビドラマ部門 第3位『転コンサルタント』
校内放送研究発表最優秀賞『改善!朝の放送』→全国大会



陸上部 神岡さん インターハイ高知県選手団の旗手を務める

7月27日福岡県久留米市にて「北部九州総体 2024」の総合開会式が行われ、本校陸上部の神岡早希さん（当時3年・66期）が高知県選手団の旗手を務めました。（写真右は同じくインターハイに出場した島津和虹くん（当時3年・66期））



コーラス部 合唱コンクール四国大会銅賞

7月28日に高知市文化プラザかるぼーと大ホールで行われた合唱コンクールで、金賞・中学高等学校部門最優秀を受賞し、四国大会へ出場しました。四国大会では銅賞を受賞しました。



コーラス部 Nコン県大会 四国大会出場

8月1日高知市文化プラザかるぼーと大ホールで行われたNHK全国学校音楽コンクール2024 高知県大会で金賞を受賞し、四国大会へ出場しました。四国大会では銅賞を受賞しました。



コーラス部、美術部 第48回全国高等学校総合文化祭 ぎふ総文出場

第48回全国高等学校総合文化祭（ぎふ総文）、合唱の部にコーラス部が、美術・工芸部門に清水咲弥さん（当時3年・66期）が出場しました。全国から集まった高校生たちと交流する中でよい刺激を受けて、とても充実した時間となりました。



美術部・書道部 高校生国際美術展で受賞

美術部と書道部が第25回高校生国際美術展に出品し、美術部の山本夏実さん（当時2年）が奨励賞を受賞しました。また、美術部の萩原蒼葉さん（当時2年）、書道部の河野詩葉さん（当時3年・66期）と藤近侑良さん（当時2年）が佳作を受賞しました。奨励賞を受賞した山本夏実さんの作品は東京六本木の国立審美術館で、展示されました。

バスケットボール U18日本代表に選出されました

澤近一颯くん（当時1年）が7月1～3日の期間ナイキジャパン体育館で行われた2024年度バスケットボール男子U18日本代表チームのエントリーキャンプに参加し、20名の参加者の中から代表の12名に選出されました。日本代表として、8月25～31日に韓国・慶尚北道で開催された「第32回日・韓・中ジュニア交流競技会」に参加しました。



華道部 小原流 学生いけばな競技会「中国・四国地区大会」入賞

第3回小原流学生いけばな競技会「中国・四国地区大会」に華道部が参加し、以下の成績を取めました。

- 優秀賞 岩村 和歌子さん（当時2年）
- 佳作 古味 千夏さん（当時3年・66期）
- 三木 あかりさん（当時2年）

グローバル・リンク・シンガポールで特別賞受賞

シンガポールのナンヤン工科大学で開催された探究活動の国際大会「グローバル・リンク・シンガポール (GLS)」で、久米柊さん（当時3年・66期）が基礎科学分野で特別賞を受賞しました。久米さんは2月に鹿児島で開催された「第9回高校生国際シンポジウム」において最優秀賞を受賞し、今回の「グローバル・リンク・シンガポール (GLS)」での研究発表は、高校生国際シンポジウムで発表した研究内容を発展させて国際舞台でプレゼンテーションできるように準備したものでした。



バドミントン部 夏季大会団体準優勝

8月13～15日で行われた高知県高等学校夏季バドミントン選手権大会で、男子団体が準優勝をしました。



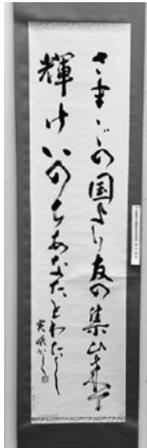
三木葵葉くん 日本生物学 オリンピック2024で銀賞を受賞

日本生物学オリンピック2024熊本大会で、昨年続いて本選に進んだ三木葵葉くん（当時3年・66期）が銀賞を受賞しました。国内で2160人が予選に応募し、その中から80人が本選に進出しました。本選では高度な実験試験と理論試験が行われ、総合成績トップ10人には金賞、その次の10人には銀賞が授与されました。



第48回 学芸書道全国展 入賞

東京学芸大学書道科、硯心会主催の全国コンクールで、書道選択者(高1)及び書道部の生徒が健闘し、森澤実咲さん(当時2年)が「東京都高等学校文化連盟書道部門賞」に輝き、8月24日東京都美術館での表彰式に参加しました。その他にも「硯心会理事長賞」に大地真央さん(当時1年)、「硯心会奨励賞」に藤近佑良さん(当時2年)、田部藍彩さん(当時1年)深田真央さん(当時1年)南莉央さん(当時1年)、さらに23名の生徒が「特選」を受賞しました。



吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト出場

10月5日に行われた「第37回全日本マーチングコンテスト四国支部大会高等学校以上の部」に中学生を含む55名で出場し金賞を受賞、四国代表として全国大会へ出場しました。全国大会出場は、2年連続13回目です。



高校生の作品が「大阪・関西万博」で飾られます

正筆会第26回全国学生公募誌上展大阪・関西万博記念特別展で河野詩葉さん(当時3年・66期)の書道作品が、作品総数8152点の中の第一席にあたる「大阪・関西万博大賞」を受賞しました。作品は、来年開催の大阪・関西万博会場に展示されます。

美術部 高知県展で受賞・入選

第78回高知県展で、美術部生徒が次の通り受賞・入選しました。

◆グラフィックデザイン部門

- 褒状 山本 夏実さん(当時2年)
- 入選 笹岡菜津子さん(当時2年)
- 萩原 蒼葉さん(当時2年)
- 武内 彩夏さん(当時2年)

◆洋画部門

- 推薦 今崎 香怜さん(当時3年・66期)
- 入選 岡本 涼花さん(当時2年)



第78回国民スポーツ大会 ソフトボール少年男子の部 3位入賞

10月12～14日に佐賀県で開催された第78回国民スポーツ大会の「ソフトボール少年男子の部」に岡田佑斗くん(当時3年・66期)と藤田歩くん(当時3年・66期)が「高知県」の一員として出場し、3位入賞を果たしました。



2024年度高知県高等学校 テニス新人大会(冬季大会) 男子団体準優勝

10月26日に行われた2024年度高知県高等学校テニス新人大会(冬季大会)団体戦で準優勝し、四国大会に出場しました。



バドミントン部 県秋季選手権大会 男子団体準優勝、男子個人入賞

11月9～10日に行われた高知県秋季バドミントン選手権大会で、男子団体戦では準優勝、男子シングルスでは三谷遙士くん(当時1年)が3位、男子ダブルスでは片岡慶二くん(当時1年)・三谷遙士くん(当時1年)が3位に入賞しました。



美術部 高校美術展で受賞

第47回高知県高等学校総合文化祭の美術・工芸部門である第69回高校美術展において、美術部が以下の通り受賞しました。

最優秀賞 (全国高等学校総合文化祭出場)	山本夏実さん (当時2年)、岡本涼花さん (当時2年)、齋田真那さん (当時1年)
奨励賞	萩原蒼葉さん (当時2年)
特別賞	清水咲弥さん (当時3年・66期)、今崎香怜さん (当時3年・66期)

高校放送部 県大会で2冠獲得

11月17日に高知県高等学校総合文化祭の一環として高知県放送秋季大会が「かるぽーと」で行われ、以下の成績を取めました。

◆アナウンス部門	優勝 松崎絵美理さん (当時2年) (全国高等学校総合文化祭出場)
	3位 嶋村諒大くん (当時3年) (全国高等学校総合文化祭出場)
	5位 釣井琴花さん (当時1年)
	6位 内山桜希さん (当時2年)
◆朗読部門	優勝 中平綾乙さん (当時1年) (全国高等学校総合文化祭出場)
	6位 大原悠璃さん (当時1年)
	入賞 中野紗和さん (当時1年)
◆オーディオメッセージ部門	2位 「Youは何しに日曜市へ?」
◆ビデオメッセージ部門	3位 「土佐ベルガモット～密着取材の旅」



剣道部 秋季大会 男子団体3位入賞

11月16～17日に県立武道館で行われた高知県高校剣道秋季新人大会で、男子団体の部3位入賞、男子個人の部で野田孝亮くん (当時2年) がベスト8に入り、団体・個人とも四国新人大会に出場しました。



英語弁論大会で入賞

1月10日、第77回高知県中学・高校英語弁論大会 (高校の部) が行われました。事前に原稿を練り上げて挑む「プリペアード部門」と、当日テーマが発表されその場で内容を考える「即興部門」の2部門が行われ、本校から参加した生徒が以下の成績を取めました。



◆プリペアード部門	第3位: 秋澤優羽さん (当時2年) 「Get out of your comfort zone」
	第5位: 福田有彩さん (当時2年) 「The importance of regular health checkups」
◆即興部門	高知工科大学長賞 Excellent speaker: 秋澤優羽さん (当時2年)

映画研究部 eiga worldcup2024 受賞

映画研究部山崎彩央依さん (当時1年) の初監督作品「ハッピーエンドに、さよなら。」が12月8日に開催された、特定非営利活動法人映画甲子園主催「eiga worldcup2024表彰式」において作品賞入選・優秀企画賞・優秀監督賞を受賞しました。

男子硬式テニス部 Winter's CUP 2024-2025 第3位

12月25日に行われたWinter's CUP2024-2025 (ダブルス) で田岡拓真くん (当時1年) ・三宮康介くん (当時1年) ペアが第3位という結果を残しました。



華道部 全国高校生花いけバトル四国大会2024出場 4位

1月12日に愛媛県今治市のイオンモール今治新都市1Fきらめきコートで「第8回全国高校生花いけバトル」四国大会（「全国高校生花いけバトル2024」四国大会）が開催されました。徳島県、愛媛県からの参加もあり、全14校26チームで実施されました。

本校からは3チームが出場。そのうち、1チーム＜吐夏家（予選2位）＞が、予選リーグを通過。決勝トーナメントに駒を進めました。残念ながら、準決勝戦で敗れはしましたが、高知県勢で決勝トーナメントに進出できたのは、橋田妃夏璃（当時2年）さんと岩村和夏子（当時2年）さんのペアのみでした。



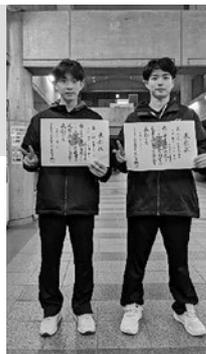
コーラス部 アンサンブルコンテスト 全国大会出場

1月26日に、高知市文化プラザかるぼーと大ホールで第28回高知合唱アンサンブルコンテストが行われ、コーラス部（同声16名）が金賞を受賞し、3月20～21日に福島県で行われた全国大会に出場しました。



高知県高等学校 冬季バドミントン 選手権大会 ダブルス準優勝

1月11、13日に行われた高知県高等学校バドミントン選手権大会で、片岡慶二くん（当時1年）・三谷遙士くん（当時1年）が、ダブルスで準優勝しました。同じく三谷くんはシングルスでもベスト8に入賞しました。



高知県高等学校剣道冬季大会 1年女子個人3位入賞

1月18、19日（日）に行われた高知県高等学校剣道冬季大会で、谷田姫菜（当時1年）さんが、1年女子個人の部で3位に入賞しました。また、女子団体の部で合同チームが4位に入賞しました。男子団体の部で高知学芸高校Aチームがベスト8に進出しました。

高校生国際シンポジウム出場、最優秀賞受賞

全国で進められている課題研究、探究活動の発表会および審査会の高校生国際シンポジウムに高校1年生から4テーマ、2年生から6テーマがエントリーし、書類審査の結果、3テーマ（4名）が出場し、ポスターを用いたプレゼンテーションと質疑応答による審査の結果、筒井愛結さんと溝渕瑚々奈さんの研究が社会科学・社会課題分野において最優秀賞を受賞しました。

出場研究テーマ

和田倫佳さん（当時2年）「再非行少年率低減策の提案」

町田拓海くん（当時2年）「笑いの理論によるネタの進化～お笑いコンクール予選突破を目指して～」

筒井愛結さん（当時2年）、溝渕瑚々奈さん（当時2年）

「高知学芸高等学校_南海トラフ地震から文化財を救出する

～高知県版文化遺産防災マップを用いた文化財の防災・減災の考察～」

美術部 全日本学生美術展で受賞

美術部が第69回全日本学生美術展で最高賞である推奨、第2位にあたる特選、そして佳作を受賞しました。

受賞作品

推奨（審査員 大沼映夫先生 推奨作品） 岡本涼花さん（当時2年）「刹那」

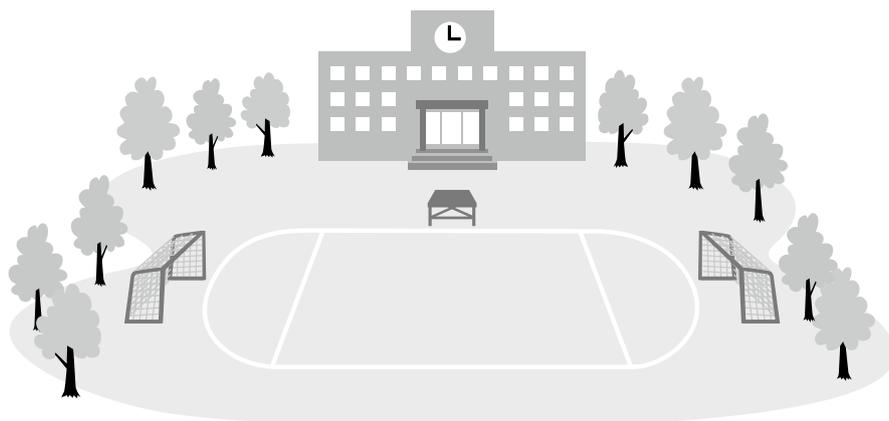
特選 山本夏実さん（当時2年）「錯綜」

佳作 合田彩芽さん（当時1年）「大切への執念」

令和7年度 高知県高等学校体育大会 結果

競技種目	順位	氏名	
陸上男子400m	1位	山下航介	四国大会出場
陸上男子400m	3位	川村春道	四国大会出場
陸上男子400m	6位	徳久啓太	四国大会出場
陸上男子4×400mリレー	1位	徳本多春音	四国大会出場
		山下航介	
		川村春道	
		徳久啓太	
男子ハンマー投げ	1位	福井陽満	四国大会出場
男子円盤投げ	4位	福井陽満	四国大会出場
女子200m	6位	戸田芽衣	四国大会出場
女子4×400mリレー	4位	太田心々菜	四国大会出場
		戸田芽衣	
		谷明香	
		福井理想	
女子三段跳	2位	福井理想	
バレーボール男子	3位		四国大会出場
バドミントン男子ダブルス	2位	片岡慶二	インターハイ出場
		三谷遥士	四国大会出場
バドミントン男子団体	2位		四国大会出場
体操女子団体	2位		四国大会出場
柔道男子個人81kg級	3位	森本眞由	四国大会出場
剣道男子団体	3位		四国大会出場
硬式テニス女子団体	3位		四国大会出場
バスケットボール男子	3位		四国大会出場
卓球男子ダブルス	ベスト8	山岡哲音	四国大会出場
		菅玲音	

※陸上競技は 四国大会の結果でインターハイに出場が決定



新任挨拶

「挑戦」

西村 一輝 (中学校社会科)



この春より、本校に着任いたしました西村一輝と申します。中学1年生の担任と社会科の授業を担当し、部活動ではバレーボール部の顧問を務めさせていただきます。

母校である本校で教壇に立っていることに、深いご縁を感じるとともに、大変光栄であり、身の引き締まる思いです。これまで私は、公立中学校に勤務してまいりました。今年の3月まで在籍した学校は、小中一貫の小規模校で、ひとクラス10人ほどでした。この度本校に戻ってきて、少子化の中でもかつてと変わらず、ひとクラスに50人の生徒が在籍していることに、改めて驚かされています。生徒として過ごした学び舎で、今は恩師に囲まれながら日々仕事をする環境に、不思議な気持ちもありますが、本校の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。

大学では、教育学を専攻しつつ、日本史も学び、特に日本各地の城郭に魅力を感じておりました。旅行が趣味で、大学時代にすべての都道府県を訪れました。旅先では食や自然、歴史に触れることが多く、今でも休日にはふと旅に出たくくなります。公立中学校に勤務していた頃、生徒と一緒に、勤務先近くの城跡のパンフレット作成や、石碑の建立を実現したこともありました。授業においても、こうした経験や視点を生かし、生徒たちに少しでも「社会って面白い」「旅行に行ってみたいな」と思ってもらえるような工夫を大切にしていきたいと考えています。

「今日の教育が、子どもの明日をつくり、社会の未来をつくる」という思いを胸に、生徒一人ひとりの可能性を信じ、厳しくも温かく、成長に寄り添ってまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

先生は今

学芸中学校元教頭貞廣宏高先生

令和6年度厚生労働大臣賞受賞

おめでとうございませう



っております。

こうした情勢をふまえ、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を表彰して一層のご活躍を期待するとともに、我が国社会福祉の一層の充実をめざす機会とするものです。

◎表彰歴

- 平成24年1月22日 高知市長表彰
- 平成29年7月9日 全国民生委員児童委員連合会会長表彰
- 平成29年11月22日 高知県知事表彰
- 令和3年11月19日 全国社会福祉協議会会長表彰
- 令和6年11月26日 厚生労働大臣表彰

2000 (平成12) から25年にわたる民生委員・児童委員の活動で、元中学校教頭貞廣宏高先生が令和6年度厚生労働大臣賞を受賞されました。児童委員を兼ねており、担当地域の小学校、中学校などの行事に参加されたり、地域の障害者施設と連絡を取り、施設や障害者の方に必要な手助けをしたり、地域の高齢者の対応に大変尽力されてきました。

◎趣旨

少子高齢化の進展とともに、福祉の担い手が厳しさを増すなかでコロナ禍において顕在化した生活困窮や孤独・孤立・地域における生活課題は複合化深刻化し

- 1979年4月～2002年3月 教諭 (社会)
- 2002年4月～2006年3月 中学校教頭 (社会)
- 2006年4月～2020年3月 非常勤講師 (社会)

新任挨拶

新任のあひやし

池田 慎吾 (高校社会科)



この度、高知学芸中学高等学校にご縁があり、赴任することとなりました社会科教諭の池田慎吾と申します。大学では日本近世史・近代史(いわゆる幕末維新时期)を中心に学び、研究に没頭。大学3年の晩秋まで他の学生と同じように大学講義・アルバイト・クラブ活動などごく一般的な学生だったと思います。しかし、あるきっかけでアメリカやイギリスを旅することとなり、これが良くも悪くも人生の大きな転機となりました。

このとき二十歳の若僧が痛感したのは「自分の世界があまりにも小さい」ということ。

それからはアルバイトと旅の繰り返し。旅では滞在している現地の人々や私のような旅をしている世界各国の友人とも接し、歴史観・国家観・民族観に触れ、自分とは何なのか、日本とはどのような国なのか、また生きるとはどういうことなのか、深く考えさせられました。一・三十カ国ほど旅をしている間に気づけば大学の後輩が先に卒業し、私が卒業するときには大学職員として私を送り出してくれました。お恥ずかしい限りです。ただ、この時には最後の職は社会科教師になると決めていました。過去の歴史を知り、世界の現状をこの目で見て触れて未来に向けて何ができるか。それを伝えることができるのは社会科教師だけだと考えたからです。社会科教員になるまでに営業職や予備校講師などを経験し、決して楽しい思い出ばかりでなく、悔しい思い、苦しい思いをしたことも強く記憶に残っています。しかし、この時間と経験が今の私をつくり出していることは疑いのない事実であり、この時間と経験が私を成長させてくれたと自負しています。

最後になりますが、社会科は「未来を担う市民の育成」を行うと定義づけられています。地理・歴史・公民の各分野で必ず役に立つ知識や思考を身につけることができます。しっかりと学んでいきましょう。

これからも生徒の皆さんのお役に立てるよう取り組んでまいりますのでお互い学び、成長できれば幸いです。今後ともよろしく願います。

新任挨拶

「初心にかえって」

川添 啓一 (中学理科)



このたびご縁をいただきまして、理科の教員として着任いたしました。川添啓一と申します。前任校では17年間勤務し、中学理科および高校物理を担当してまいりました。長らく勤めた学校を離れて新しい環境に飛び込むことは、私にとつては大きな転機でした。教員としての初心に立ち返り、新たな気持ちでまた一歩を踏み出したいです。これまで培った経験を生かしながら、さらに学びを深め、生徒一人ひとりの成長を支えられるよう、精一杯努力していきたいと考えております。

私は高知に生まれ育ち、大学時代の4年間を除いて、これまでの人生の大半を高知で過ごしてまいりました。しかし、これまで学芸中高に接する機会はほとんどなく、新任として勤務する毎日は、新鮮な発見や出会いにあふれています。着任してからの時間はまだわずかですが、その中でも学校の校風や伝統を感じられる場面が多くあり、そのたびに、この学校の歴史を紡いでいく一員になれたことを大変嬉しく思うと同時に、身の引き締まる思いでおります。

自分の学生時代を振り返ると、小・中学校では野球、高校ではハンドボールに打ち込んできましたが、勉強に関しては必ずしも全力を尽くせたとはいえず、苦手な教科の学習をおろそかにしてしまっただけのことでは否めません。社会に出てからは、学生時代に学びきれなかったことで自らの可能性を狭めてしまったと、痛感させられることが少なからずありました。だからこそ、生徒の皆さんには、勉強にも部活動にも全力で取り組み、自分の可能性を大きく伸ばしてほしいと心から願っています。

至らぬ点多々あるうかと存じますが、どうぞよろしく願います。

教職員の異動

(敬称略)

2025年

- 退職
吉良 徹 (中学 理科)
- 新任
池田 慎吾 (高校 社会)
川添 啓一 (中学 理科)
西村 一輝 (中学 社会)

伊野部法律事務所

弁護士 伊野部 啓(38期)

〒780-0870
高知県高知市本町5-2-18 なるせビル4階
TEL 088-820-7667 FAX 088-820-7668
E-mail inobe-law@vesta.ocn.ne.jp

学芸NOW

2025
第31号
令和7年7月
発行

私たちの母校『学芸高校』は今こんなに頑張っています。

「運・鈍・根」



高知学芸中学高等学校 校長 橋本 和紀

同窓会の皆様には、日頃より本校教育活動にご理解ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

4月に新入生を迎え、在籍生徒1556名で新年度をスタートしました。高等学校の入学式で次のような話をしました。

入学生の皆さんに言葉をひとつ贈ります。『運・鈍・根』という言葉です。

「運(うん)」は運動の運、運不運の運で「めぐる」とも読めます。ここではめぐり合わせ・縁を大切にするとという意味です。めぐり合うものを大切に。友達・仲間との出会い、授業での新しい知識や考え方との出会い、自分の将来につながる興味関心との出会いを大切にしたい。

「鈍(どん)」は鈍いという意味の鈍です。ここではコツコツと取り組むという意味です。学習、部活動など日々の取り組みの積み重ねを大事にしてほしい。「根(こん)」は根つこの根で、粘り強く続けるという意味です。

これからの高校生活で、出会うものやことを大切に、そして何事もコツコツと粘り強く取り組んでください。それによって自分の持ち味が磨かれ、強みになると思います。

昨年の夏、本校の高校3年生がシンガポールで行われた「課

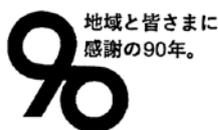
題研究」の大会に出場し、見事特別賞を受賞しました。2年生で興味を持った研究テーマを大切に、主体的で根強い取り組みが実を結んだもので、前述の『運・鈍・根』を実践した生徒の一人です。大会当日、同窓会シンガポール支部長の井上雅文さんが応援に駆けつけてくださり、本人もたいへん心強かったと思います。

1つ下の学年の生徒が今年の2月に全国大会に出場し、ポスター部門で昨年に続いて最優秀賞を受賞しました。全国大会を目指し、自分の研究に根気強く向き合う生徒が増加していることを何よりうれしく思っています。

昨年度は「ふるさと納税型クラウドファンディング」で多くの卒業生の皆さんからご寄付をいただき本当にありがとうございました。おかげさまで、食堂の券売機(2台)と図書の新たな書架を購入することができました。今年度もプロジェクトを計画しますので、どうか協力お願い申し上げます。

同じく昨年度から始めたボランティア活動は4月に登録者が100名を超え、「DXハイスクール」は3Dプリンターを導入してスタートしています。これからも継続的な活動で生徒の成長の後押しをしたいと考えています。

最後になりましたが、卒業生の皆様方のご多幸と、高知学芸高等学校同窓会の益々の発展を祈念しご挨拶いたします。



地域と皆さまに
感謝の90年。

オフィスソリューションで広がる未来へ。

OKAMURA
株式会社 岡村文具

代表取締役 岡村 憲男(21期生)

〒780-0841 高知市常屋町2丁目2-22 TEL088-873-2266 FAX088-873-2268
ワークプレイス事業部 TEL088-822-0364 URL <http://www.okamura-bungu.com>